



National Institute of Informatics

---

NII Technical Report

科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究－2007年度(平成19年度)版－

Ⅱ. 理工系編

Evaluation of Japanese Universities' Research Activity Based on the Number of Awards of Grants-in-Aid for Scientific Research — 2007 Fiscal Year —

II. Sciences and Engineering

野村浩康、光田好孝、前田正史、前橋 至、  
根岸正光、柴山盛生、西澤正己、孫 媛

Hiroyasu NOMURA, Yoshitaka MITSUDA, Masafumi MAEDA,  
and Itaru MAEBASHI,

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA, Masaki NISHIZAWA,  
and Yuan SUN

NII-2009-009J

Apr. 2009

科学研究費補助金採択研究課題数による  
大学の研究活性度の調査研究  
－2007年度(平成19年度)版－  
II. 理工系編

野村浩康\*\*, 光田好孝\*, 前田正史\*, 前橋 至\*  
\* 東京大学 \*\* 東京電機大学

根岸正光, 柴山盛生, 西澤正己, 孫 媛  
国立情報学研究所

Evaluation of Japanese Universities' Research Activity  
Based on the Number of Awards of  
*Grants-in-Aid for Scientific Research*  
－ 2007 Fiscal Year –  
II. Sciences and Engineering

Hiroyasu NOMURA\*\*, Yoshitaka MITSUDA\*,  
Masafumi MAEDA\*, Itaru MAEBASHI\*  
\* The University of Tokyo, \*\* Tokyo Denki University

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA,  
Masaki NISHIZAWA, Yuan SUN  
National Institute of Informatics

## Abstract

The system of *Grants-in-Aid for Scientific Research* from Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan is one of the oldest ones, which is the funding system for researchers belonging to universities and institutes in Japan. The fund was allotted to each researcher by peer review under the application for their own research projects.

This is the second report for 2007 fiscal year's version, on the research field of sciences and engineering. The total number of adoption subjects of research projects at 2007 has been summed up for each university and institute on individual research field and compared to those of 2006 which were reported previously.

# 目 次

## I. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究について

1. はじめに .....	1
2. 調査研究に利用したデータベース .....	3
3. 2007 年度（平成 19 年度）の包括的な状況 .....	3
4. 調査研究の具体的な分析方針 .....	10

## II. 個別課題研究費編：理工系

1. 概要 .....	11
2. 分野別 .....	20
2-1 数物系科学 .....	20
2-2 化学 .....	28
2-3 工学 .....	34



# I. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性化の調査研究について

## 1. はじめに

文部科学省（文部省）科学研究費補助金制度は、わが国最大の、国・公・私立大学、国立研究機関などに所属する研究者に対する個人申請とピアレビューによる国の研究費配分制度であり、この制度がわが国の大学の基礎研究を支えてきたといっても過言ではない。わが国の科学技術の振興を一層図るために、いわゆる競争的研究資金である科学研究費補助金に予算が重点的に配分され、最近ではその伸び率が小さくなってきたものの、図1-1に示すように毎年予算増が図られ、2008年度（平成20年度）には1,932億円に達し、他の省庁の所轄を含めてわが国最大の競争的研究資金となっている。納税者に対する説明責任という観点からも、科学研究費補助金がどのように配分されているかを総合的に調査・分析することは重要である。

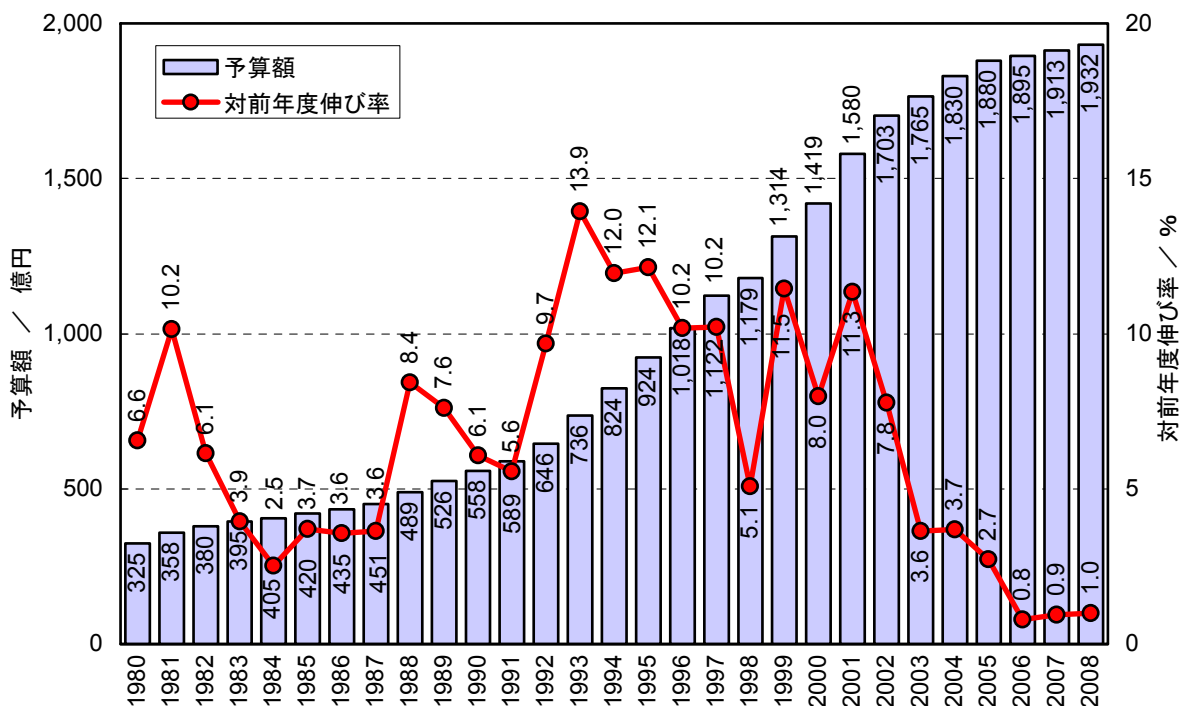


図1-1 科学研究費補助金の予算額の推移

近年、いろいろな機関が大学などの評価、順位づけを行っているが、評価における観点として、個人および機関評価の資料として用いるデータの公開性の問題がある。公開され誰にでも入手できるデータに基づき、明示された方法により、評価・順位づけがなされなければならない。この種の資料の整理・公開が非常に遅れていることも、わが国の正確な評価システムの構築を妨げている一因である。この意味からも科学研究費補助金の採択研究課題名および金額は、毎年「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）に公表されており、現在では国立情報学研究所のwebサイトにも公開され、条件さえ整えば誰でもがみることができると、最も公開が進んでいる資料で

ある。

科学研究費補助金のように、公開データから採択研究課題数を大学別に整理することにより順位づけを行う場合、必ず大学の規模の問題が出てくる。科学研究費補助金採択研究課題数は、いわば英国における各大学の RAS (Research Active Staff) の数に対応するものと考えられる。国立大学の法人化により徐々に運営費交付金の削減が進行すれば、わが国の研究者への研究費の配分について、機関配分よりも競争的な個人配分の割合が大きくなる傾向が強くなるのは当然の流れである。科学研究費補助金制度は、国・公・私立大学の区別なく研究者個人が申請し研究費を獲得する制度である。採択研究課題数の多い大学は、活発に研究活動をしている教員、英国流に言えば RAS が多く所属していることになり、分野ごとの採択研究課題数の多寡は、各大学の研究活性分野の濃淡を表すことになる。とすれば、このような資料は、大学当局においても構成員の研究活力度を的確に把握するために欠くことのできないもの、大学ガバナンスの資料でもあるはずである。

この科学研究費補助金制度の根幹をなす仕組みのひとつが科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」(以下「細目表」という)である。この「細目表」は基盤研究などの研究種目に関し審査分野の区分を示す分類表である。ここで注意すべきことは、科学研究費補助金の「細目表」における細目構成が基本的にわが国の学部・学科編成と似ていることから、科学研究費補助金の採択研究課題数と学部・学科などの大学の組織の人数などを短絡的に比較しがちな点である。しかし、学部・学科・専攻が学問分野を中心に編成されているものの、研究者がその所属に関係なく、実施しようとする研究計画の内容を考え、適切な「細目」を自ら選んで研究費を申請できることが、科学研究費補助金の特徴である。

科学研究費補助金の「細目表」は不断に進展を続ける学問・研究の動向に合う適切なものでなければならぬ。このような考えを受けて、2003 年度に大幅な「細目表」の改訂が行われている。一方、「細目表」の改訂が一段落した 2006 年度から、若手研究(スタートアップ)が始まり、特別研究促進費が従来の大型研究から大きくその性格を変えている。このほか、2007 年度からは若手研究(S)が始まり、さらに 2008 年度からは大型研究が従来とは大きく変化し「新学術領域研究」という新しい研究種目が導入されるように、少しずつ制度の内容が変わってきている。

2003 年度(平成 15 年度)の科学研究費補助金の「細目表」の大改訂を考慮し、1998 年度(平成 10 年度)から 2002 年度(平成 14 年度)の 5 年間の全ての分野にわたって科学研究費補助金採択研究課題を分析し、わが国の大学・研究機関の研究活力度を調べ、国立情報学研究所の「NII テクニカルレポート」として、web 上に公表した。また、その骨子は慧文社から「科学研究費補助金からみる全国大学総合ランキング — 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活力度の調査研究 —」として出版した。以来、2003 年度から毎年、科学研究費補助金の全ての分野にわたり調査・分析した結果をその都度、web 上または出版物として報告してきた。この間、2004 年度(平成 16 年度)には国立大学の法人化など大学をめぐる研究・教育環境は大きく変化してきた。

本調査報告は、同様の調査研究の 2007 年度(平成 19 年度)版である。このような調査研究には連続性が必要であるので、2006 年度版までの調査研究と同じ方針でデータの整理・分析を行う。2006 年度版と同様に、個別課題研究費(基盤研究、萌芽研究、若手研究、特別研究員奨励費)と大型研究費(特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費)とその他(奨励研究、特定奨励費、研究成果公開促進費、審査・評価・分析経費)にわけ、個別課題研究費、大型研究費について解析する。2006 年度から特別研究促進費の性格が変わり、2007 年度にも若干の変更があったが、これまでの調査研究との整合性から、特別研究促進費は大型研究費の中で議論する。

## 2. 調査研究に利用したデータベース

科学研究費補助金の採択研究課題名などについては、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）として、毎年10月に公表・刊行されている。また、科学研究費補助金の採択研究課題名や成果概要などについては、国立情報学研究所により「KAKEN（科学研究費補助金採択課題・成果概要データベース）」（URL：<http://seika.nii.ac.jp/>）としても公開されている。このように、科学研究費補助金については、公開されたデータが存在するため、採択研究課題数などを機関評価の資料として用いることが可能である。このことは、2005年（平成17年）6月にユネスコ・ヨーロッパ高等教育センターが呼びかけ開催された高等教育専門家会合において、大学ランキングの望ましい在り方を示した文書「高等教育機関のランキングに関するベルリン原則」にも謳われているデータの透明性にあたる。

本調査研究、基本的に個別課題研究費の分析には「KAKEN」に公開されているデータベースを用いており、「KAKEN」データでは直接経費のみであるため、各採択研究課題の配分額は直接経費のみの額である。また、予算額などの「KAKEN」から得られないデータについては「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に掲載されている数値を用いており、予算額は基本的には間接経費を含んだ額となっている。

なお、「KAKEN」には基本的に年度当初の採択研究課題に加え、年度途中の追加採択研究課題も含まれているが、本調査研究用にデータを取得した段階では、2007年度基盤研究（C）については追加採択研究課題が反映されていなかった。一方、2007年度に関しては「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に「補遺版」が発行され、通常とは異なる時期に採択が行われた若手研究（S）の採択研究課題や追加採択の状況が掲載されている。

## 3. 2007年度（平成19年度）の包括的な状況

2007年度の総予算額は、図1-1に示したように、前年度より18億円増、0.9%増えて1,913億円である。伸び率はきわめて小さいが、緊縮財政状況の中でプラスの伸び率であることをよとする状況である。2005年度から2007年度までの総予算額の項目別内訳について示したものが、表1-1である。1999年度から科学研究費補助金の取り扱いが基本的に機関経理に変更され、2001年度から科学研究費補助金に間接経費が付けられるようになった。当初は特別推進研究、基盤研究（S）など配分額が大きい研究種目に限られていたが、順次拡大され、2007年度からは基盤研究（B）、（C）にも間接経費が配分されるようになった。したがって表1-1では2005年度から2007年度の予算額を間接経費の配分状況がわかるように、間接経費を内数とした総予算額と間接経費を並列に示した。前述のように、2007年度は前年度に比べ予算額は18億円増加しているが、機関補助である間接経費を引いた実質研究費（直接経費）の予算額は、前年度に比べ約134億円、7.7%減となっている。

これらの項目を、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）、個別課題研究費の一種である特別研究員奨励費、研究成果公開促進費、特定奨励費、大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）、および残りの項目を審査・評価・分析経費他として、予算額の割合を図1-2の円グラフに示す。図1-2では直接経費の予算状況をみるために、予算額から間接経費を除いた金額で提示した。

2005年度、2006年度に比べて、2007年度は項目別予算額（直接経費）の内訳が大きく変化してい



る。前年度と比較すると個別課題研究費の割合が 59.1%から 66.1%に拡大し、大型研究費の割合が 34.1%から 28.1%に縮小しているのが特徴である。特別研究員奨励費、研究成果公開促進費などの割合はほとんど変化していない。先にも述べたように、2007年度は間接経費の措置される研究種目が増えたために実質研究費（直接経費）の予算額が減ったが、直接経費の予算額を前年度と比較すると、個別課題研究費は 32 億円強、対前年度比 3.1%増加し、その代わり大型研究費が 140 億円強、24.0%減少している。

表 1 - 1 科学研究費補助金の項目別予算額

金額単位/百万円

項 目	2005年度		2006年度		2007年度		
	予算額	間接経費 (内数)	予算額	間接経費 (内数)	予算額	間接経費 (内数)	
1 科学研究費	(1) 特別推進研究	13,600	3,138	13,700	3,161	8,255	1,905
	(2) 特定領域研究	40,291	—	40,291	—	31,480	—
	(3) 基盤研究(S)	10,600	2,446	10,600	2,446	10,600	2,446
	(4) 基盤研究(A)	20,640	4,760	20,640	4,760	21,970	5,070
	(5) 基盤研究(B)	34,110	—	34,110	—	44,343	10,233
	(6) 基盤研究(C)	19,870	—	19,870	—	26,026	6,006
	(7) 萌芽研究	5,250	—	5,250	—	5,508	—
	(8)若手研究(S)	—	—	—	—	1,300	300
	(9) 若手研究(A)	5,900	1,361	6,150	1,419	6,150	1,419
	(10) 若手研究(B)	14,600	—	14,600	—	14,600	—
	(11) 若手研究 (スタートアップ)	—	—	1,000	—	1,800	—
	(12) 奨励研究	600	—	600	—	500	—
	(13) 特別研究促進費	250	—	400	—	250	—
	小 計	165,711	11,705	167,211	11,786	172,782	27,379
2 研究成果 公開促進費	(1) 学術定期刊行物	884	—	884	—	583	—
	(2) 学術図書	685	—	685	—	412	—
	(3) デー タベ ー ス	1,416	—	1,416	—	645	—
	(4) 研究成果公開発表	397	—	397	—	160	—
	小 計	3,382	—	3,382	—	1,800	—
3 特定奨励費	770	—	770	—	700	—	
4 特別研究員奨励費	6,170	—	6,070	—	5,353	—	
5 学術創成研究費	11,050	2,550	11,050	2,550	9,515	2,196	
6 審査・評価・分析経費	917	—	1,017	—	1,150	—	
合 計	188,000	14,255	189,500	14,336	191,300	29,575	

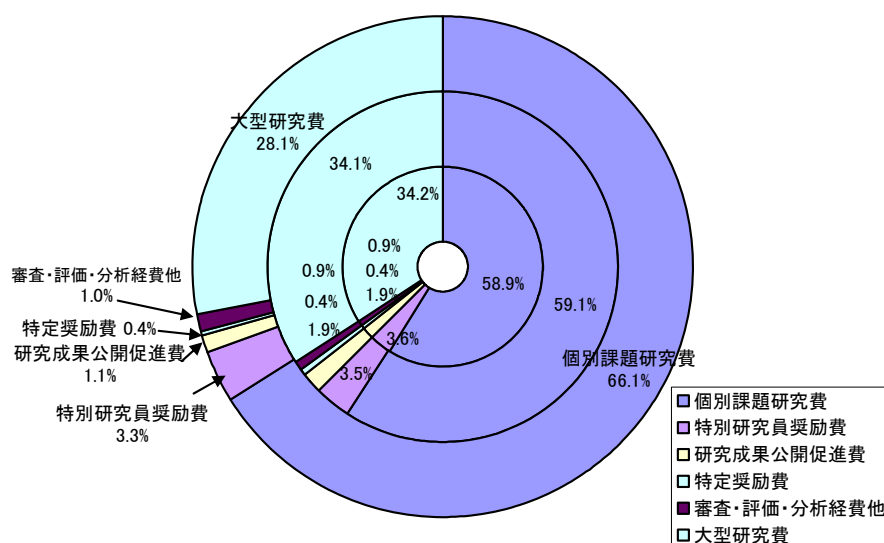


図 1-2 2005 年度(内周)、2006 年度(中間周)、2007 年度(外周)の  
科学研究費補助金（直接経費）の項目別予算の割合

まず、個別課題研究費について、2007 年度の採択研究課題数を「分野」別に眺めてみよう。採択研究課題数に着目し、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、および特別研究員奨励費）の分析に用いた「分野」別および研究種目別の採択研究課題数と配分額を表 1-2 に示す。特別研究員奨励費を除いた個別課題研究費の配分額の総額は前年度より 1.3% 増加し、採択研究課題数も 1,858 件、対前年度比にして 4.3% 増えている。

特別研究員奨励費を除いた個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）の 2007 年度の「分野」別の採択研究課題数の割合を図 1-3 に示す。前年度と比較して、個別課題研究費の総予算額の増加に伴い全体の採択研究課題数も伸びているが、個別課題研究費の総採択研究課題数に占める各「系」の割合は、総合・新領域系が 17.6%、人文社会系は 19.0% と前年度に比べてそれぞれ 0.2%、1.0% 大きくなっているのに対し、理工系は 25.3% から 24.4% と 0.9% 小さくなり、生物系も 39.2% から 39.0% と 0.2% 小さくなっている。人文社会系の割合が大きくなっているのに対し、理工系の割合が小さくなっている。

表 1-2 個別課題研究費の分野別研究種目別の採択研究課題数と配分額（2007 年度）

金額単位/百万円

研究種目	分野	総合領域	複合新領域	人文学	社会科学	数物系科学	化学	工学	生物学	農学	医歯薬学	時限付き	研究種目別合計
基盤研究 (S)	件数	37	44	13	9	44	27	71	29	20	50	0	344
	配分額	619	753	201	135	725	473	1,185	508	336	879	0	5,814
基盤研究 (A)	件数	196	200	137	161	198	85	333	77	134	210	0	1,731
	配分額	1,888	1,887	1,005	1,305	1,874	931	3,554	819	1,199	2,320	0	16,782
基盤研究 (B)	件数	923	569	573	755	587	309	1,249	317	668	1,648	0	7,598
	配分額	3,958	2,566	1,934	2,604	2,443	1,584	6,032	1,556	2,999	8,336	0	34,011
基盤研究 (C)	件数	1,964	622	1,801	2,068	1,336	450	1,859	486	822	5,505	283	17,196
	配分額	2,487	821	1,697	2,090	1,465	701	2,544	755	1,159	8,007	369	22,094
萌芽研究	件数	555	226	192	293	224	169	520	159	281	1,260	0	3,879
	配分額	746	340	180	302	275	285	816	249	421	1,891	0	5,506
若手研究 (S)	件数	4	3	2	2	3	4	5	2	2	8	0	35
	配分額	76	82	11	23	81	70	64	23	21	148	0	600
若手研究 (A)	件数	130	82	11	22	79	67	197	56	50	135	0	829
	配分額	724	463	38	88	438	409	1,216	344	285	826	0	4,831
若手研究 (B)	件数	1,588	519	654	1,439	900	426	1,432	489	589	3,772	0	11,808
	配分額	1,945	659	562	1,298	995	629	1,934	722	784	5,188	0	14,716
若手研究(スタートアップ)	件数	162	73	119	234	106	61	186	75	85	523	0	1,624
	配分額	196	89	126	241	131	80	230	99	112	652	0	1,956
分野別合計	件数	5,559	2,338	3,502	4,983	3,477	1,598	5,852	1,690	2,651	13,111	283	45,044
	配分額	12,639	7,662	5,755	8,084	8,427	5,162	17,574	5,076	7,317	28,246	369	106,310
特別研究員奨励費	件数	5,553											5,553
	配分額	5,245											5,245

\* 特別研究員奨励費に関してのみ、平成 19 年度文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧よりデータを採用した。

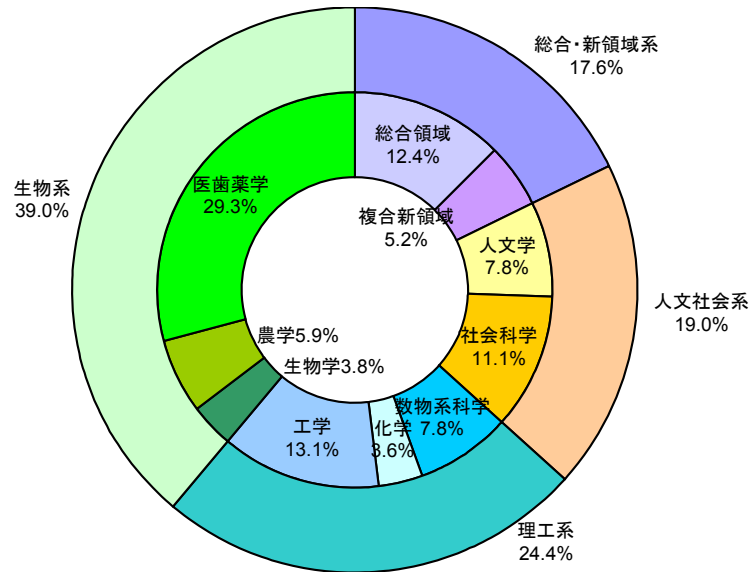


図 1-3 2007 年度科学研究費補助金の「系」別(外周)および「分野」別(内周)採択研究課題数の割合

次に、2007 年度の採択研究課題数を機関別に眺めてみよう。2007 年度の特別研究員奨励費を除く研究種目全体の機関別採択研究課題数上位 50 位を表 1-3 に、その棒グラフを図 1-4 に示す。

このような採択研究課題数による順位づけでは研究機関の規模が大きく反映されるほか、医学系の学部・研究科を持つ大学が比較的上位に現れやすい傾向がある。前年度と比較すると、1 位の東京大学から 11 位の神戸大学まで旧帝国大学、旧文理大学などが続き、その順位に変動はない。上位で特徴的なことは岡山大学と慶應義塾大学が順位を入れ替えているほか、理化学研究所が 16 位から 14 位に上昇していることである。中位グループでは群馬大学が 26 位から 24 位に上昇し、山口大学が 24 位から 26 位に後退している程度で、その他はおおむね±1 の変化に留まっている。40 位以降では、東京理科大学が同数 50 位から 43 位に上昇し、日本原子力研究開発機構が同数 48 位と上位 50 位入りを果たし、福井大学は 45 位から同数 48 位に、鳥取大学が 42 位から同数 48 位に後退し、奈良先端科学技術大学院大学、宮崎大学、佐賀大学が上位 50 位から姿を消している。

表1-3 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位50位(2007年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2007年度		2006年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	2,899	17,818,660	2,860
2	国	京都大学	2,362	11,936,750	2,310
3	国	東北大学	2,001	8,651,550	1,890
4	国	大阪大学	1,926	8,891,240	1,794
5	国	九州大学	1,489	5,116,740	1,466
6	国	北海道大学	1,432	5,011,528	1,456
7	国	名古屋大学	1,312	5,604,770	1,256
8	国	筑波大学	969	2,854,530	944
9	国	広島大学	855	2,263,450	837
10	国	東京工業大学	787	4,242,430	790
11	国	神戸大学	757	2,433,760	762
12	私	慶應義塾大学	668	1,996,116	622
13	国	岡山大学	623	1,625,470	644
14	他	理化学研究所	600	2,813,940	553
15	国	千葉大学	588	1,574,710	593
16	私	早稲田大学	566	1,593,181	576
17	国	金沢大学	552	1,246,450	501
18	国	熊本大学	431	1,197,600	408
19	国	東京医科歯科大学	424	1,649,710	407
20	国	新潟大学	414	975,000	458
21	国	長崎大学	401	993,480	390
22	国	徳島大学	381	975,430	402
22	私	日本大学	381	671,991	347
24	国	群馬大学	355	848,350	333
25	公	大阪市立大学	336	848,520	335
26	国	山口大学	323	628,160	340
27	国	鹿児島大学	321	715,170	305
28	国	信州大学	320	857,380	316
29	公	大阪府立大学	317	738,930	296
30	公	首都大学東京	298	749,990	288
31	他	産業技術総合研究所	296	922,360	272
32	国	愛媛大学	287	689,400	270
33	国	静岡大学	275	606,810	266
34	国	岐阜大学	265	543,890	267
35	国	富山大学	261	554,007	258
36	国	三重大学	250	585,380	240
37	国	山形大学	249	446,994	247
38	私	立命館大学	242	536,160	245
39	公	名古屋市立大学	228	504,020	224
40	国	東京農工大学	227	903,060	228
41	国	横浜国立大学	219	577,560	222
42	国	琉球大学	217	354,362	211
43	私	東京理科大学	209	538,330	185
44	国	弘前大学	207	377,230	204
45	私	東海大学	204	455,000	208
46	公	横浜市立大学	203	552,520	203
46	公	京都府立医科大学	203	474,780	186
48	他	日本原子力研究開発機構	198	782,310	161
48	国	福井大学	198	380,910	205
48	国	鳥取大学	198	364,590	217
合計			49,189	152,476,133	47,484

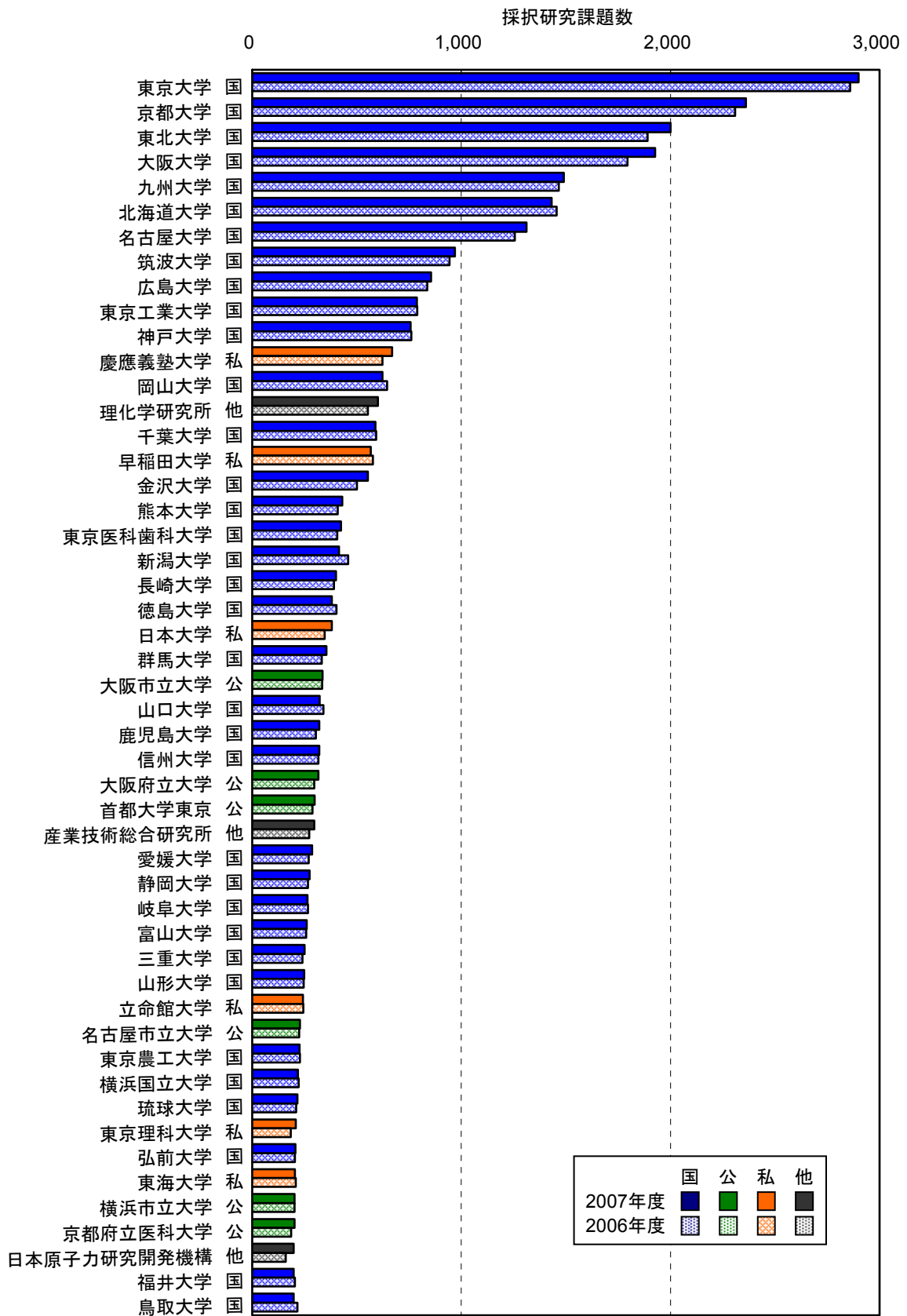


図 1 - 4 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)

#### 4. 調査研究の具体的な分析方針

特別研究員奨励費を除く個別課題研究費では、科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度を、科学研究費補助金申請および採択に用いられた「細目表」にしたがって整理した。基本的には前回の2006年度版の分析方針と同じである。経時変化がわかるように、2006年度の機関別採択研究課題数を併記することとした。ただし、2006年度の途中から2007年度の研究課題の採択までの間に、大学などの合併や名称変更などが行われている。2006年度の採択研究課題数を表記する場合には、この点を考慮して、2007年4月1日現在における大学などの合併や改廃を考慮した合算を行うなどの補正をしている。また、独立行政法人の改編に伴い申請時の機関名の記述が変更になったものもあり、比較の難しいものもある。補正内容の詳細については個々に記さないで、注意されたい。

これらの研究種目については次の方法で分析する。

- (1) 各「系」について、2007年度の科学研究費補助金の採択研究課題数による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (2) 各「分野」について、採択研究課題数による機関別順位を上位50位まで整理する。
- (3) 「分科」については、文学、法学、経済学、薬学など学部に対応するものもある。基本的には、各「分科」について採択研究課題数による機関別順位を上位30位まで整理する。ただし、採択研究課題数が1件の場合は省略し、2件までの順位とする。
- (4) 各「細目」については、単年度では調査件数が少ないことから、2007年度の単年度の分析の対象にはしなかった。この点については、2003年度から2007年度までの5年間の総集編の出版を計画しており、そこであらためて分析対象としたい。

## Ⅱ. 個別課題研究費編：2. 理工系

### 1 概要

2007 年度の採択結果に前年度の機関別採択研究課題数を併記した、理工系全体での機関別採択研究課題数上位 50 位を表 2-1 に、その棒グラフを図 2-1 に示す。前年度と比較すると、理工系全体の採択研究課題数は 10,872 件から 10,927 件に増加しているものの、対前年度の伸び率は 0.5% で、人文社会系の 9.6% に比べて著しく小さい。

表 2-1 から明らかなように、人文社会系とは異なり、上位 10 位では前年度 2 位の京都大学と 3 位の東北大学、9 位の広島大学と 10 位の筑波大学が入れ替わったのみである。中位以降では人文社会系と同じように、かなりの変化が認められる。東京理科大学が同数 28 位から 17 位に、理化学研究所が 30 位から同数 22 位に上昇し、首都大学東京が 15 位から同数 22 位に、大阪府立大学が同数 19 位から同数 24 位に、横浜国立大学が同数 19 位から 26 位に、大阪市立大学が 24 位から同数 30 位に、新潟大学も同数 25 位から同数 30 位に後退している。下位グループでは日本大学が同数 38 位から 34 位に、群馬大学は同数 47 位から同数 40 位に上昇し、核融合科学研究所、徳島大学が上位 50 位から姿を消し、愛媛大学、富山大学が上位 50 位入りを果たしている。



表 2-1 理工系 採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2007年度		2006年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	767	3,433,140	758
2	国	東北大学	680	2,722,990	656
3	国	京都大学	679	2,220,370	690
4	国	大阪大学	533	2,048,760	522
5	国	東京工業大学	429	1,694,300	450
6	国	九州大学	406	1,312,430	418
7	国	名古屋大学	388	1,405,360	384
8	国	北海道大学	369	1,241,270	362
9	国	筑波大学	196	564,640	191
10	国	広島大学	193	522,160	198
11	国	神戸大学	170	493,760	176
12	私	早稲田大学	145	436,470	159
13	他	日本原子力研究開発機構	144	308,850	119
14	国	金沢大学	122	241,640	108
15	私	慶應義塾大学	109	363,430	103
15	国	岡山大学	109	330,270	119
17	私	東京理科大学	108	229,010	87
18	国	千葉大学	106	270,130	107
19	国	名古屋工業大学	105	256,900	101
20	他	産業技術総合研究所	104	252,740	100
20	国	静岡大学	104	246,130	98
22	他	理化学研究所	101	325,380	84
22	公	首都大学東京	101	225,690	109
24	他	物質・材料研究機構	96	254,780	91
24	公	大阪府立大学	96	222,760	102
26	国	横浜国立大学	95	231,250	102
27	国	東京農工大学	92	366,440	92
28	国	熊本大学	89	211,700	87
29	他	高エネルギー加速器研究機構	85	328,800	82
30	公	大阪市立大学	84	211,460	95
30	国	新潟大学	84	181,400	92
32	他	宇宙航空研究開発機構	79	245,550	73
33	国	九州工業大学	78	182,100	74
34	私	日本大学	77	115,980	70
35	国	電気通信大学	72	129,200	74
36	国	山口大学	70	128,780	82
37	国	埼玉大学	68	169,530	71
38	公	兵庫県立大学	66	128,030	70
39	国	信州大学	65	158,290	69
40	国	群馬大学	62	147,960	55
40	国	茨城大学	62	115,600	67
42	国	長岡技術科学大学	60	175,110	76
42	国	愛媛大学	60	123,030	47
42	他	海洋研究開発機構	60	103,410	63
45	国	豊橋技術科学大学	58	143,300	61
45	私	東海大学	58	91,000	62
47	国	京都工芸繊維大学	57	133,200	53
47	国	富山大学	57	115,050	47
49	国	岐阜大学	55	117,050	59
50	国	山形大学	51	90,530	51
合計			10,927	31,161,878	10,872

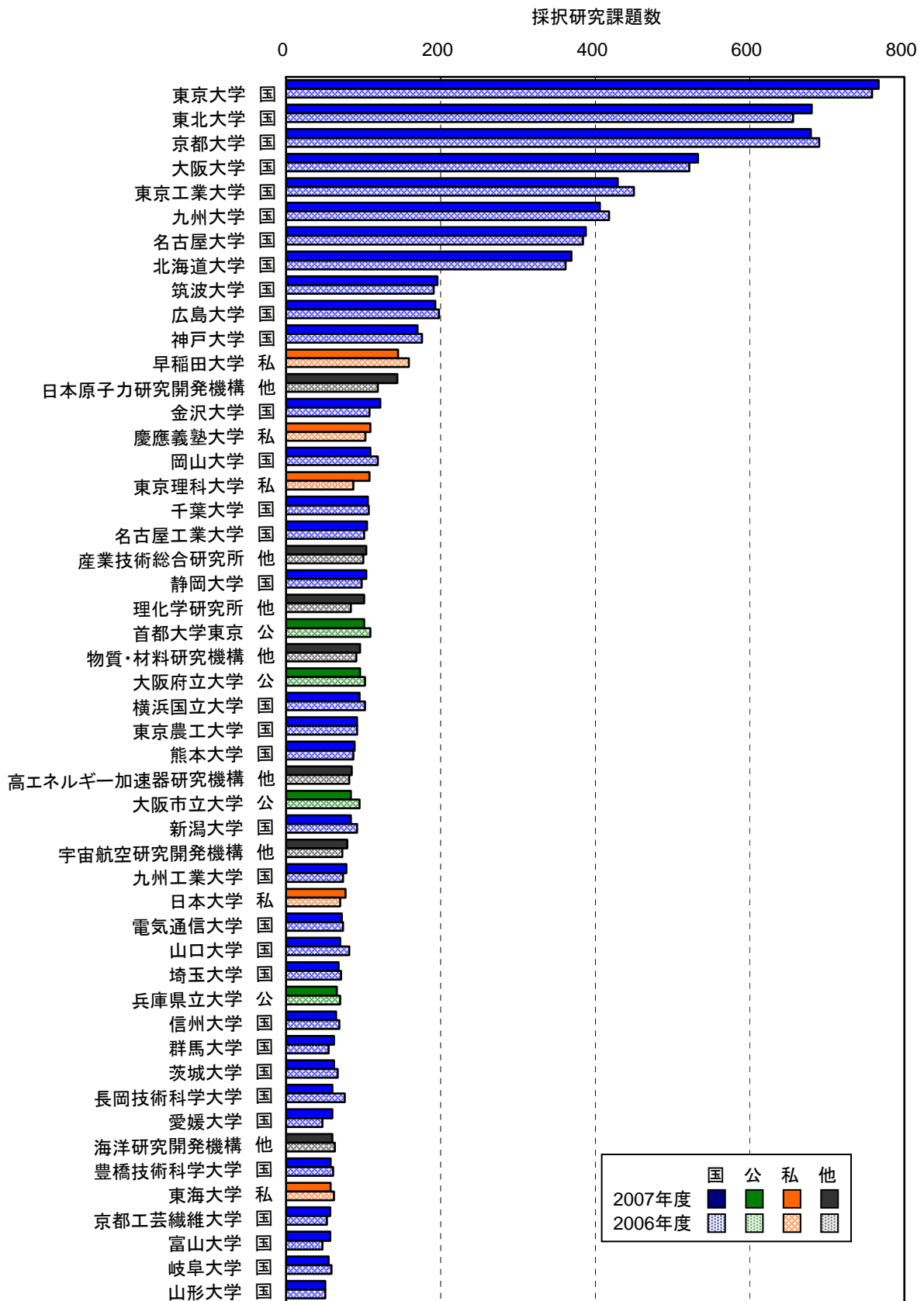


図 2 - 1 理工系 採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)

この理工系を「分野」別に分けてみると、図2-2に示すように、採択研究課題数の割合は分野：数物系科学が31.8%（前年度：31.0%）、分野：化学が14.6%（前年度：14.7%）、分野：工学が53.6%（前年度：54.3%）と分野：数物系科学の占める割合が若干大きくなっている。分野：工学は理工系全体に占める割合が小さくなっているだけではなく、採択研究課題数自体が55件減少している。

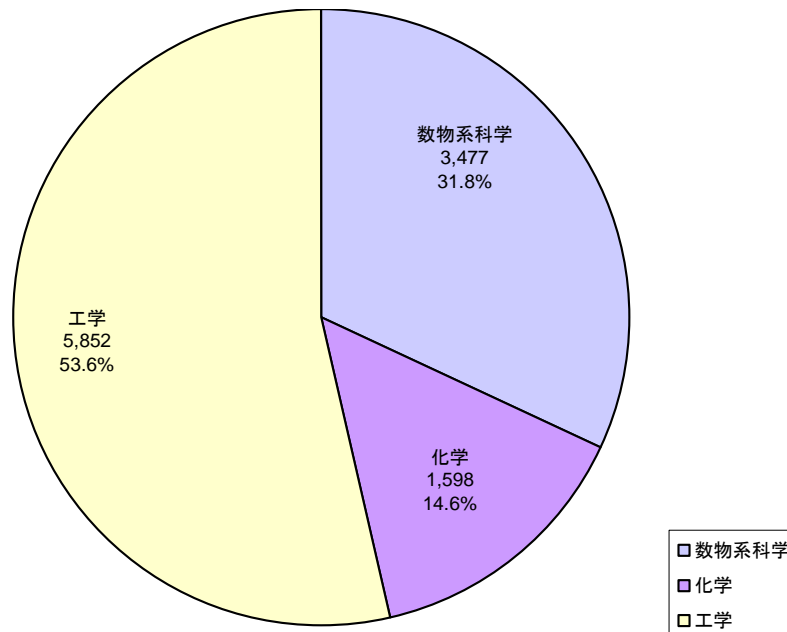


図2-2 2007年度の理工系「分野」別採択研究課題数

分野：数物系科学、化学、工学での採択研究課題数を機関別に整理したものの上位50位を表2-2～2-3に、棒グラフを図2-3～2-5にそれぞれ示す。数物系科学、化学、工学ともに前年度までの傾向とほぼ同じであるが、個々の「分野」の特徴も表れている。

分野：数物系科学では、前年度と比較して、上位の機関の順位はほとんど変化がない。上位10位では、京都大学、東北大学、広島大学、東京工業大学が採択研究課題数を減らしたのに対して、東京大学、大阪大学、名古屋大学、北海道大学、九州大学が採択研究課題数を増やしている。また、前年度に引き続き、高エネルギー加速器研究機構、日本原子力研究開発機構などの研究所が採択研究課題数を伸ばしている。

分野：化学でも、前年度と比較して、上位の機関の順位に大きな変動はない。上位10位では、採択研究課題数を減らしたものの京都大学が1位を守り、大阪大学、東北大学、名古屋大学、広島大学などが採択研究課題数を増やし、九州大学、北海道大学などが採択研究課題数を減らしている。また、理化学研究所、東京理科大学などが採択研究課題数を伸ばしている。

分野：工学でも、前年度と比較して、上位の機関の順位に大きな変動はない。順位は変わらなかったものの、2位の東京大学、5位の東京工業大学の採択研究課題数の減少がやや大きい。1位の東北大学は採択研究課題数を伸ばしている。日本原子力研究開発機構、物質・材料研究機構なども採択研究課題数を伸ばし、順位を上げている。

表2-2 理工系「分野」別採択研究課題数上位50位(2007年度)(1)

金額単位/千円

数物系科学					化学						
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京大学	338	1,247,820	317	1	国	京都大学	114	524,970	118
2	国	京都大学	250	638,060	253	2	国	大阪大学	103	370,660	97
3	国	東北大学	186	629,310	198	3	国	東京工業大学	92	330,850	93
4	国	大阪大学	156	522,800	153	4	国	東京大学	81	406,810	79
5	国	名古屋大学	152	417,070	148	5	国	東北大学	77	249,750	72
6	国	北海道大学	147	435,560	130	6	国	九州大学	75	306,300	88
7	国	九州大学	120	263,780	117	7	国	北海道大学	68	249,320	76
8	国	広島大学	87	177,370	91	8	国	名古屋大学	51	251,820	42
9	国	東京工業大学	86	276,710	89	9	国	広島大学	37	159,050	32
10	国	筑波大学	85	200,320	85	10	他	産業技術総合研究所	28	50,860	32
11	他	高エネルギー加速器研究機構	70	246,500	67	11	他	理化学研究所	26	87,650	22
12	国	岡山大学	55	186,740	51	11	私	東京理科大学	26	61,440	21
12	国	神戸大学	55	139,400	59	13	他	分子科学研究所	24	89,170	23
14	他	海洋研究開発機構	52	93,910	53	13	国	東京農工大学	24	78,600	20
15	国	金沢大学	51	83,140	43	15	国	千葉大学	23	65,900	23
16	私	早稲田大学	49	87,100	49	15	国	名古屋工業大学	23	50,900	19
16	他	日本原子力研究開発機構	49	76,250	41	17	国	筑波大学	21	108,100	24
18	他	理化学研究所	44	124,370	30	18	国	群馬大学	19	37,950	18
19	他	国立天文台	43	176,270	47	19	国	神戸大学	18	64,200	15
20	私	慶應義塾大学	41	107,900	37	19	国	金沢大学	18	42,900	15
21	国	新潟大学	39	72,800	42	21	公	大阪市立大学	17	61,900	23
21	公	大阪市立大学	39	72,260	35	21	国	岡山大学	17	50,000	21
23	国	静岡大学	37	59,730	36	23	私	早稲田大学	16	62,250	19
24	公	首都大学東京	36	91,230	38	23	国	京都工芸繊維大学	16	43,900	14
25	国	千葉大学	34	68,400	38	25	公	大阪府立大学	15	65,600	17
26	国	愛媛大学	32	61,430	22	25	公	兵庫県立大学	15	30,890	17
27	他	宇宙航空研究開発機構	28	84,190	27	25	他	物質・材料研究機構	15	30,320	18
28	他	産業技術総合研究所	26	67,000	24	28	国	静岡大学	14	21,100	13
28	国	茨城大学	26	26,200	28	29	私	慶應義塾大学	13	58,100	16
30	国	電気通信大学	24	35,900	25	29	国	熊本大学	13	57,700	8
30	国	熊本大学	24	32,600	23	29	国	信州大学	13	55,100	19
32	国	信州大学	23	32,500	19	29	国	長崎大学	13	44,200	14
32	国	富山大学	23	32,450	15	29	公	首都大学東京	13	35,580	16
32	私	上智大学	23	28,780	23	34	国	富山大学	12	35,600	11
35	私	日本大学	22	38,060	18	34	国	山形大学	12	25,400	11
35	公	大阪府立大学	22	26,800	22	34	私	神奈川大学	12	24,166	7
35	私	東京理科大学	22	23,760	18	34	国	山口大学	12	16,610	13
38	国	高知大学	21	30,840	17	38	他	日本原子力研究開発機構	11	35,200	7
38	私	東海大学	21	24,900	21	39	国	岐阜大学	10	26,600	9
40	国	山形大学	20	31,900	17	39	国	愛媛大学	10	26,600	7
40	国	島根大学	20	22,100	16	39	国	福井大学	10	24,500	12
42	他	物質・材料研究機構	18	49,700	16	39	国	奈良先端科学技術大学院大学	10	22,200	16
42	国	横浜国立大学	18	48,100	13	43	国	山梨大学	9	26,050	4
42	私	立教大学	18	40,100	15	43	国	新潟大学	9	21,800	7
42	国	山口大学	18	36,900	22	43	国	九州工業大学	9	19,800	10
46	国	琉球大学	17	20,100	15	46	国	佐賀大学	8	18,300	6
47	国	埼玉大学	16	44,700	13	46	国	奈良女子大学	8	16,600	9
47	公	兵庫県立大学	16	31,300	16	48	国	徳島大学	7	18,900	3
47	国	お茶の水女子大学	16	23,500	17	48	国	三重大学	7	17,800	6
50	私	青山学院大学	15	21,470	16	48	国	横浜国立大学	7	15,900	10
50	国	鹿児島大学	15	19,600	14	48	国	長岡技術科学大学	7	13,500	14
						48	私	近畿大学	7	13,200	7
						48	私	日本大学	7	12,300	4
合計			3,477	8,426,780	3,369	合計			1,598	5,161,508	1,596

表 2-3 理工系「分野」別採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度) (2)

金額単位/千円

工学					
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額	
1	国	東北大学	417	1,843,930	386
2	国	東京大学	348	1,778,510	362
3	国	京都大学	315	1,057,340	319
4	国	大阪大学	274	1,155,300	272
5	国	東京工業大学	251	1,086,740	268
6	国	九州大学	211	742,350	213
7	国	名古屋大学	185	736,470	194
8	国	北海道大学	154	556,390	156
9	国	神戸大学	97	290,160	102
10	国	筑波大学	90	256,220	82
11	他	日本原子力研究開発機構	84	197,400	71
12	私	早稲田大学	80	287,120	91
13	国	名古屋工業大学	74	191,200	76
14	国	横浜国立大学	70	167,250	79
15	国	広島大学	69	185,740	75
16	他	物質・材料研究機構	63	174,760	57
17	国	東京農工大学	60	266,640	64
17	国	九州工業大学	60	151,700	57
17	私	東京理科大学	60	143,810	48
20	公	大阪府立大学	59	130,360	63
21	私	慶應義塾大学	55	197,430	50
22	国	豊橋技術科学大学	54	135,200	59
23	国	静岡大学	53	165,300	49
23	国	金沢大学	53	115,600	50
25	国	熊本大学	52	121,400	56
25	公	首都大学東京	52	98,880	55
27	国	長岡技術科学大学	51	153,410	61
28	他	宇宙航空研究開発機構	50	159,060	46
28	他	産業技術総合研究所	50	134,880	44
30	国	千葉大学	49	135,830	46
31	私	日本大学	48	65,620	48
32	国	埼玉大学	46	117,360	47
33	国	電気通信大学	44	87,800	46
34	国	山口大学	40	75,270	47
35	国	岡山大学	37	93,530	47
36	他	核融合科学研究所	36	108,900	44
36	国	新潟大学	36	86,800	43
36	国	岐阜大学	36	81,050	40
39	国	京都工芸繊維大学	35	76,900	33
39	公	兵庫県立大学	35	65,840	37
41	国	群馬大学	33	98,310	25
42	私	東海大学	32	58,100	36
42	私	金沢工業大学	32	45,100	39
44	他	理化学研究所	31	113,360	32
44	私	立命館大学	31	68,750	37
44	国	徳島大学	31	63,900	38
47	国	茨城大学	30	80,400	31
48	国	信州大学	29	70,690	31
48	国	鹿児島大学	29	62,600	31
50	私	関西大学	28	79,760	22
50	公	大阪市立大学	28	77,300	37
50	国	山梨大学	28	61,520	35
		合計	5,852	17,573,590	5,907

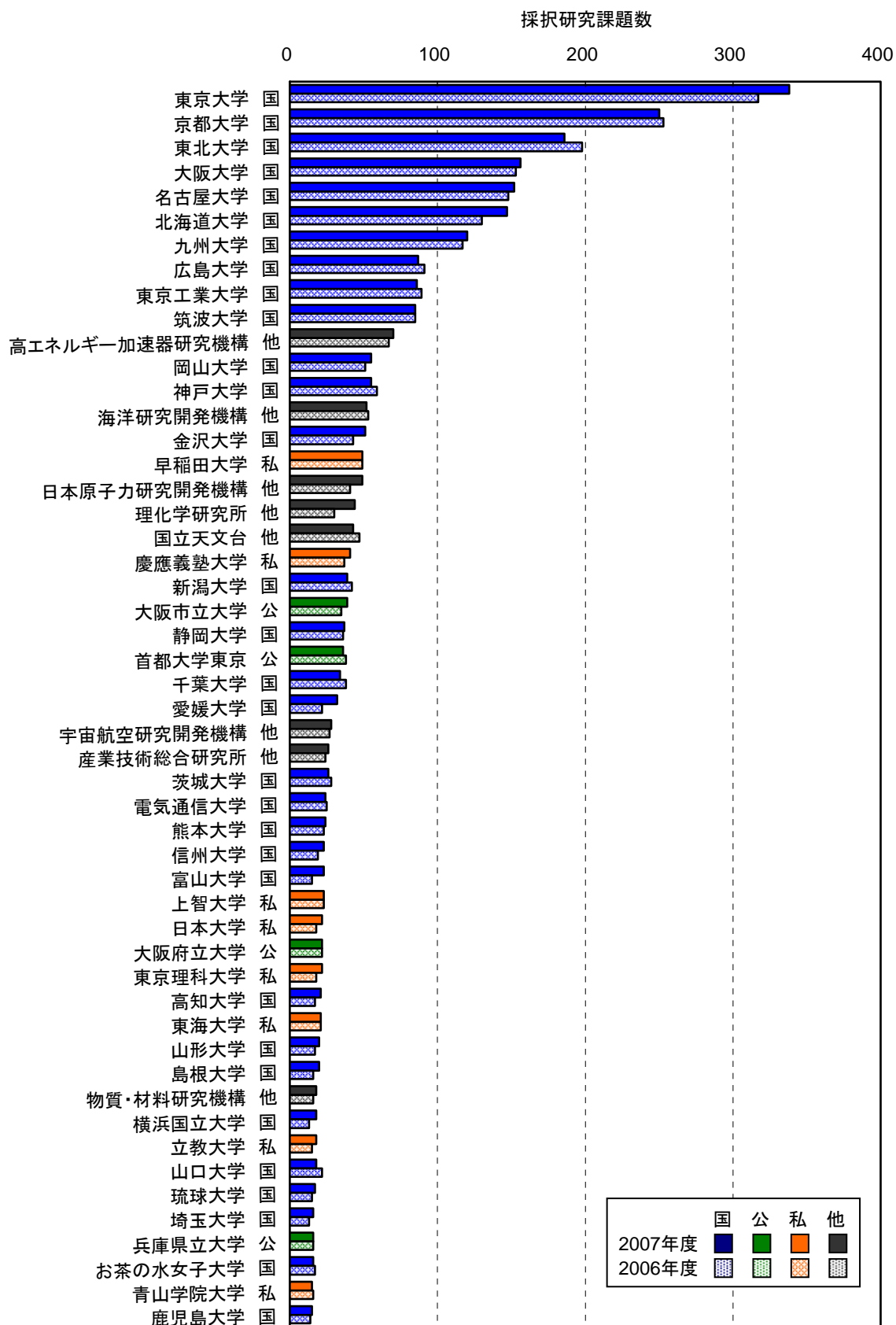
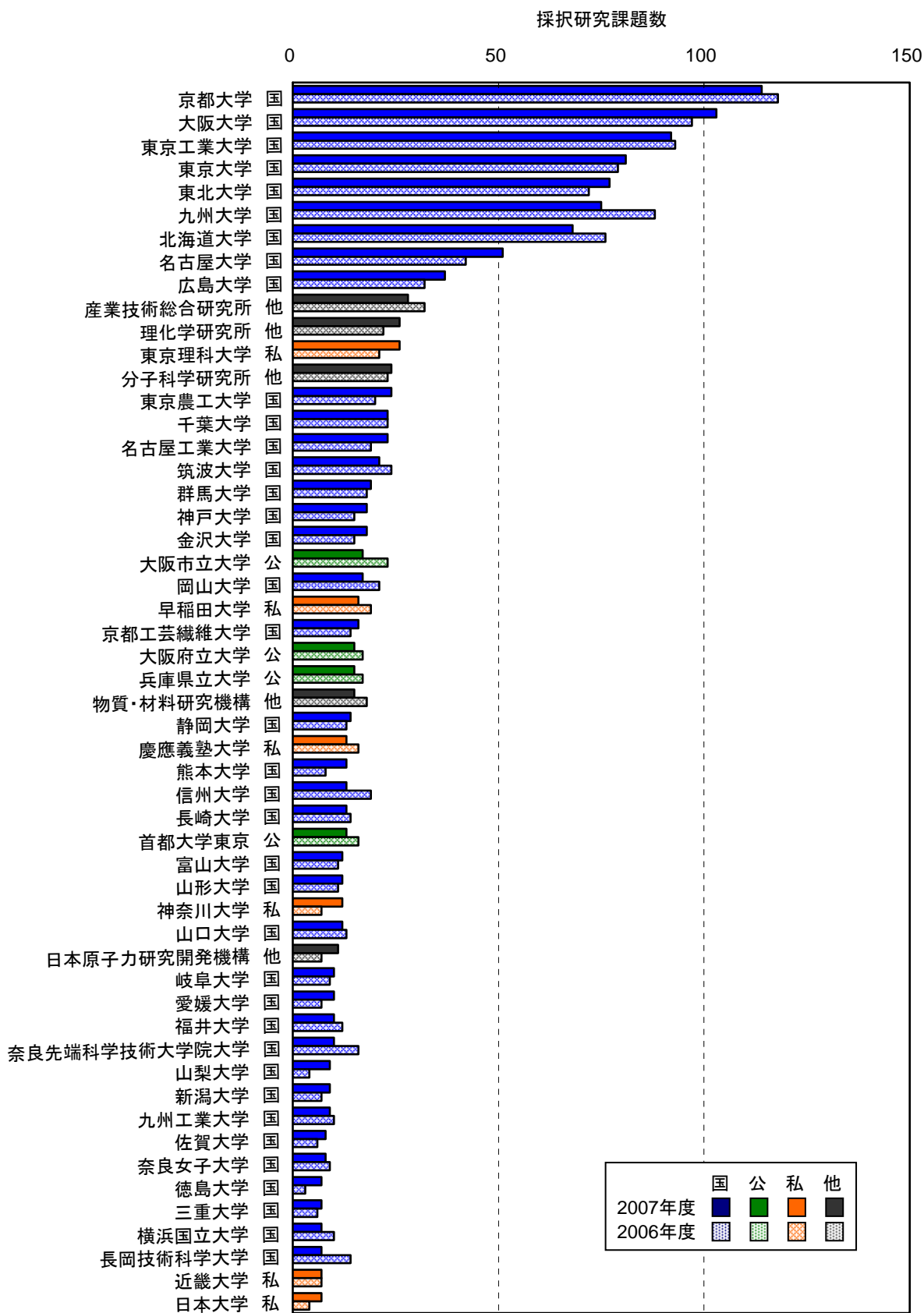


図 2 - 3 数物系科学 採択研究課題数上位 50 位 (2007 年度)



採択研究課題数

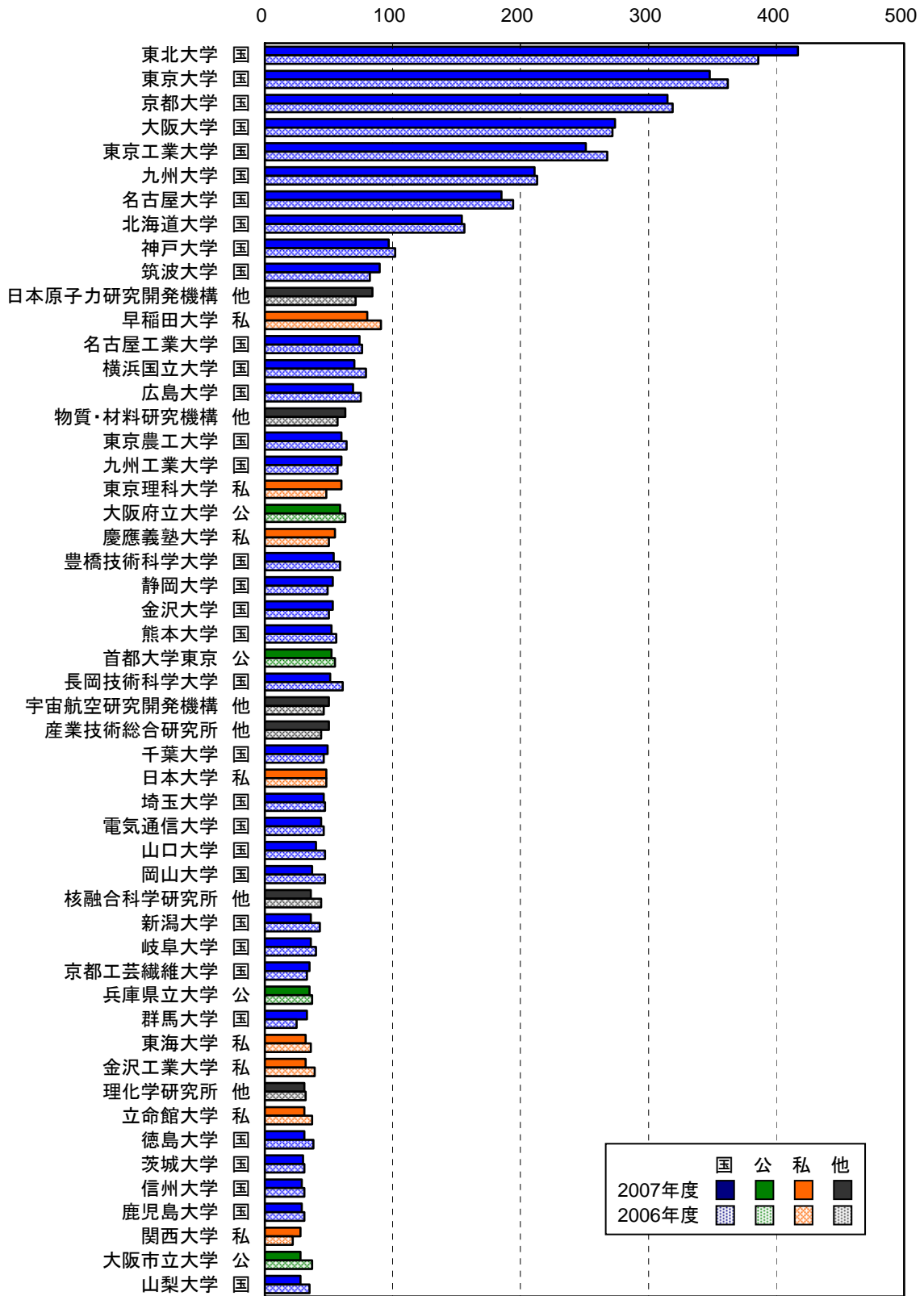


図2-5 工学 採択研究課題数上位50位(2007年度)



## 2 分野別

### 2-1 数物系科学

分野：数物系科学の中の数学、天文学、物理学、地球惑星科学、プラズマ科学の「分科」ごとの採択研究課題数を図2-6の円グラフに示す。前年度と比較して各「分科」の採択研究課題数の割合はほとんど変化していない。また、数学、物理学、地球惑星科学の「分科」に比べて、天文学、プラズマ科学の採択研究課題数は、数学、物理学の約10分の1、地球惑星科学の約5分の1と少なく、他の「分科」の「細目」に相当する採択研究課題数の規模となっている。このため、単年度のみの採択研究課題数を用いた大学間の研究活性度の比較を行う場合は、統計的な意味が他の「分科」と異なる点に多少注意する必要がある。

前年度と比較すると、分野：数物系科学全体の採択研究課題数は3.2%増えているが、「分科」により採択研究課題数の伸び率には多少の差があり、分科：数学で2.4%、分科：物理学で3.6%、分科：地球惑星科学が最も大きく4.5%である。採択研究課題数が少ない分科：プラズマ科学では採択研究課題数はまったく変化していない。

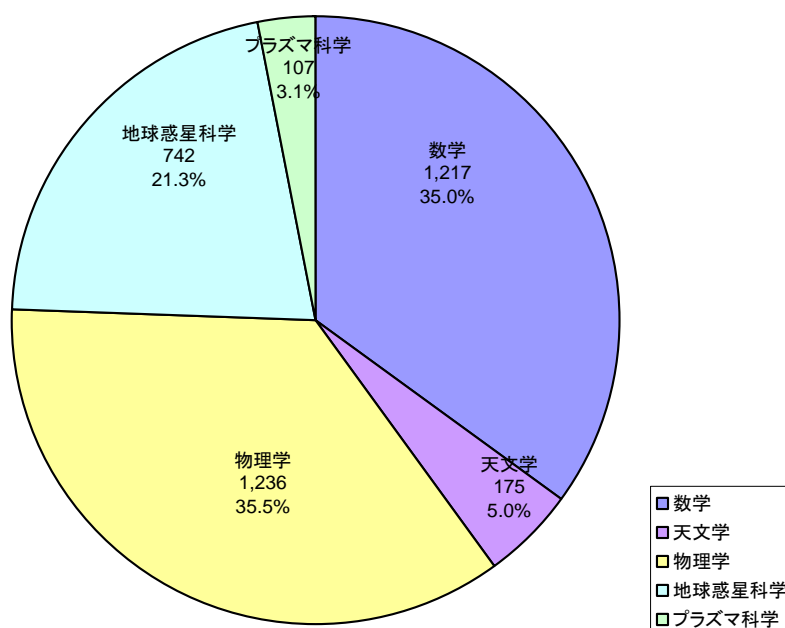


図2-6 2007年度の数物系科学「分科」別採択研究課題数

以下、数学、天文学、物理学、地球惑星科学、プラズマ科学の各「分科」について、上位30位までを表にまとめ、表2-4～2-6に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図2-7～2-9に示す。分科：天文学、プラズマ科学は採択研究課題数が少ないので、棒グラフでは省略することとする。

表2-4～2-6および図2-7～2-9から明らかなように、どの「分科」においても前年度と

比較して上位の機関にはあまり順位の変動はない。

分科：数学では、東京大学が2位から3位に、名古屋大学が同数5位から6位に、東京工業大学が10位から同数12位に後退し、金沢大学が13位から同数10位に上昇している。

分科：物理学では上位グループにほとんど変化はなく、日本原子力研究開発機構が9位から同数7位に、理化学研究所が同数11位から9位に上昇し、広島大学が8位から11位に、筑波大学が10位から12位に後退していることが目立つ程度である。

分科：地球惑星科学では、京都大学が5位から2位に、産業技術総合研究所が同数12位から10位に、愛媛大学が同数22位から同数14位に、金沢大学が同数20位から同数14位に上昇し、静岡大学が11位から同数18位に大きく後退している。

分科：天文学、プラズマ科学は「分科」全体の採択研究課題数が少ないために、順位を議論することは難しい。

表2-4 数物系科学「分科」別採択研究課題数上位30位(2007年度)(1)

金額単位/千円

数学						天文学					
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	京都大学	86	152,200	93	1	他	国立天文台	33	150,500	33
2	国	九州大学	68	112,730	60	2	国	東京大学	24	79,890	24
3	国	東京大学	59	186,900	63	3	国	京都大学	14	33,400	14
4	国	大阪大学	57	113,780	51	4	国	名古屋大学	13	58,000	12
5	国	北海道大学	52	115,880	44	4	他	宇宙航空研究開発機構	13	44,510	15
6	国	名古屋大学	45	85,780	44	6	国	北海道大学	7	33,400	6
7	国	東北大学	42	94,450	41	7	国	筑波大学	4	23,520	4
8	国	筑波大学	38	52,000	37	7	他	理化学研究所	4	15,000	1
9	国	広島大学	37	61,500	37	7	私	立教大学	4	8,400	2
10	国	金沢大学	27	40,850	22	7	国	広島大学	4	5,170	3
10	私	慶應義塾大学	27	32,800	25	11	国	愛媛大学	3	12,900	1
12	私	早稲田大学	23	42,700	20	11	国	鹿児島大学	3	6,000	2
12	国	東京工業大学	23	41,200	29	11	私	東京理科大学	3	3,760	1
14	国	神戸大学	22	59,700	25	14	国	東京工業大学	2	12,300	2
15	公	大阪市立大学	21	27,500	14	14	国	東北大学	2	5,200	5
16	国	岡山大学	19	29,480	15	14	国	大阪教育大学	2	2,800	2
17	公	首都大学東京	18	22,730	18	14	国	山形大学	2	2,200	1
18	国	千葉大学	16	18,600	17	14	私	青山学院大学	2	1,970	1
19	国	熊本大学	15	19,100	15	14	他	群馬県立ぐんま天文台	2	1,700	1
20	国	愛媛大学	14	18,200	10	14	国	大阪大学	2	1,600	2
20	国	新潟大学	14	17,300	16	14	私	大阪産業大学	2	1,550	1
22	国	信州大学	13	13,300	8	14	国	神戸大学	2	1,300	2
22	私	東京理科大学	13	12,400	13						
22	国	静岡大学	13	12,100	11						
22	私	上智大学	13	10,780	12						
26	私	日本大学	12	22,900	12						
26	国	茨城大学	12	11,600	12						
28	国	島根大学	11	11,100	6						
29	国	山口大学	10	13,200	12						
29	国	山形大学	10	9,600	10						
29	私	東海大学	10	9,400	7						
29	公	大阪府立大学	10	8,700	9						
		合計	1,217	1,863,930	1,188			合計	175	542,670	171



表 2-6 数物系科学「分科」別採択研究課題数上位 30 位（2007 年度）（3）

金額単位/千円

プラズマ科学					
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額	
1	他	核融合科学研究所	12	27,300	10
2	国	大阪大学	11	68,800	12
3	国	東北大学	9	48,600	12
4	国	京都大学	7	20,700	8
4	他	日本原子力研究開発機構	7	9,000	5
6	国	名古屋大学	6	8,800	7
7	国	静岡大学	5	8,530	4
8	国	東京大学	4	23,200	2
9	私	東海大学	3	4,900	2
9	国	長崎大学	3	3,900	4
11	国	九州大学	2	15,100	3
11	国	広島大学	2	13,400	3
11	国	岩手大学	2	7,550	1
11	国	金沢大学	2	4,900	2
11	他	海洋研究開発機構	2	4,800	1
11	国	北海道大学	2	4,100	0
11	国	愛媛大学	2	1,600	4
合計			107	340,180	107

採択研究課題数

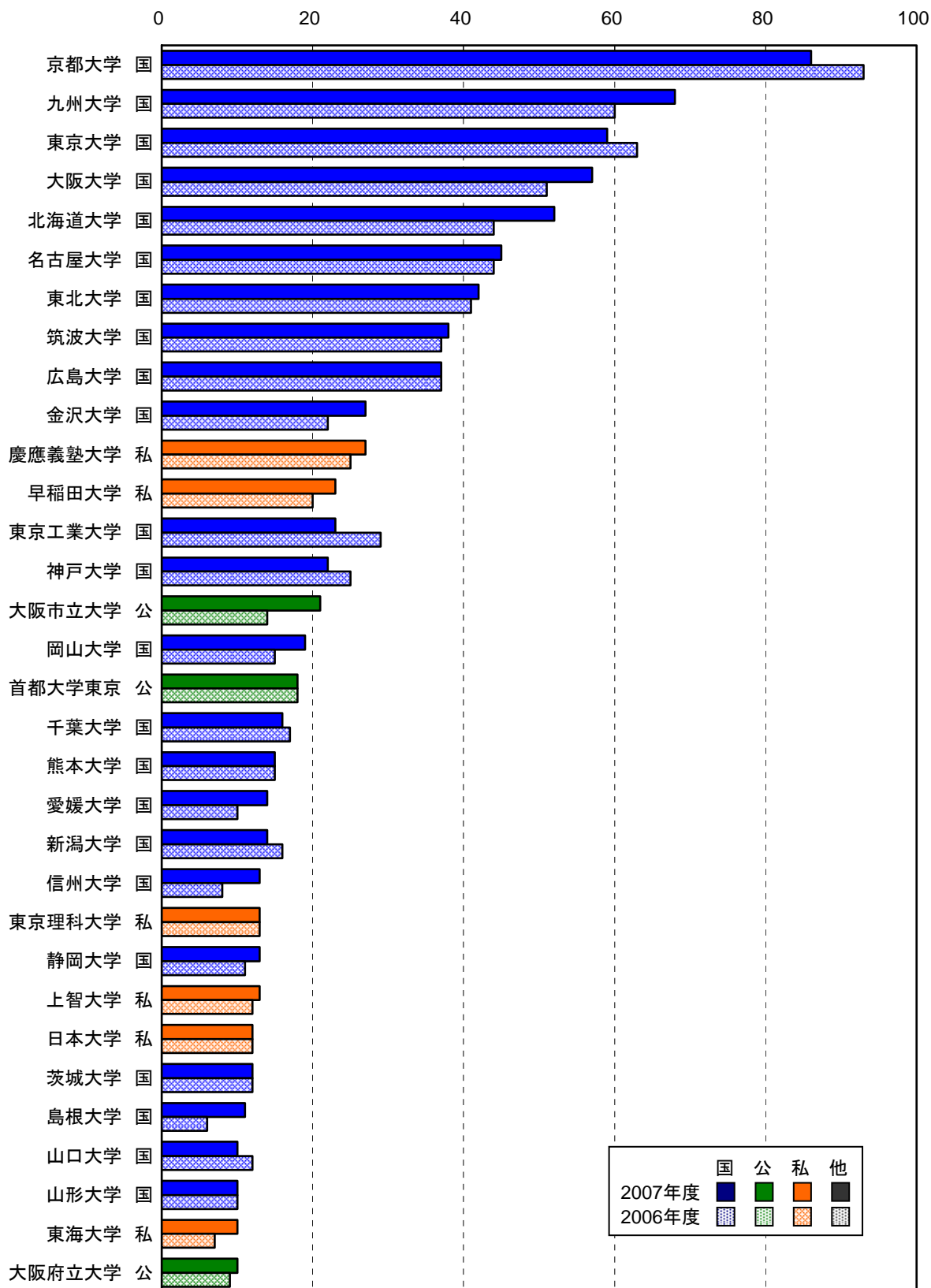


図 2 - 7 数学 採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度)

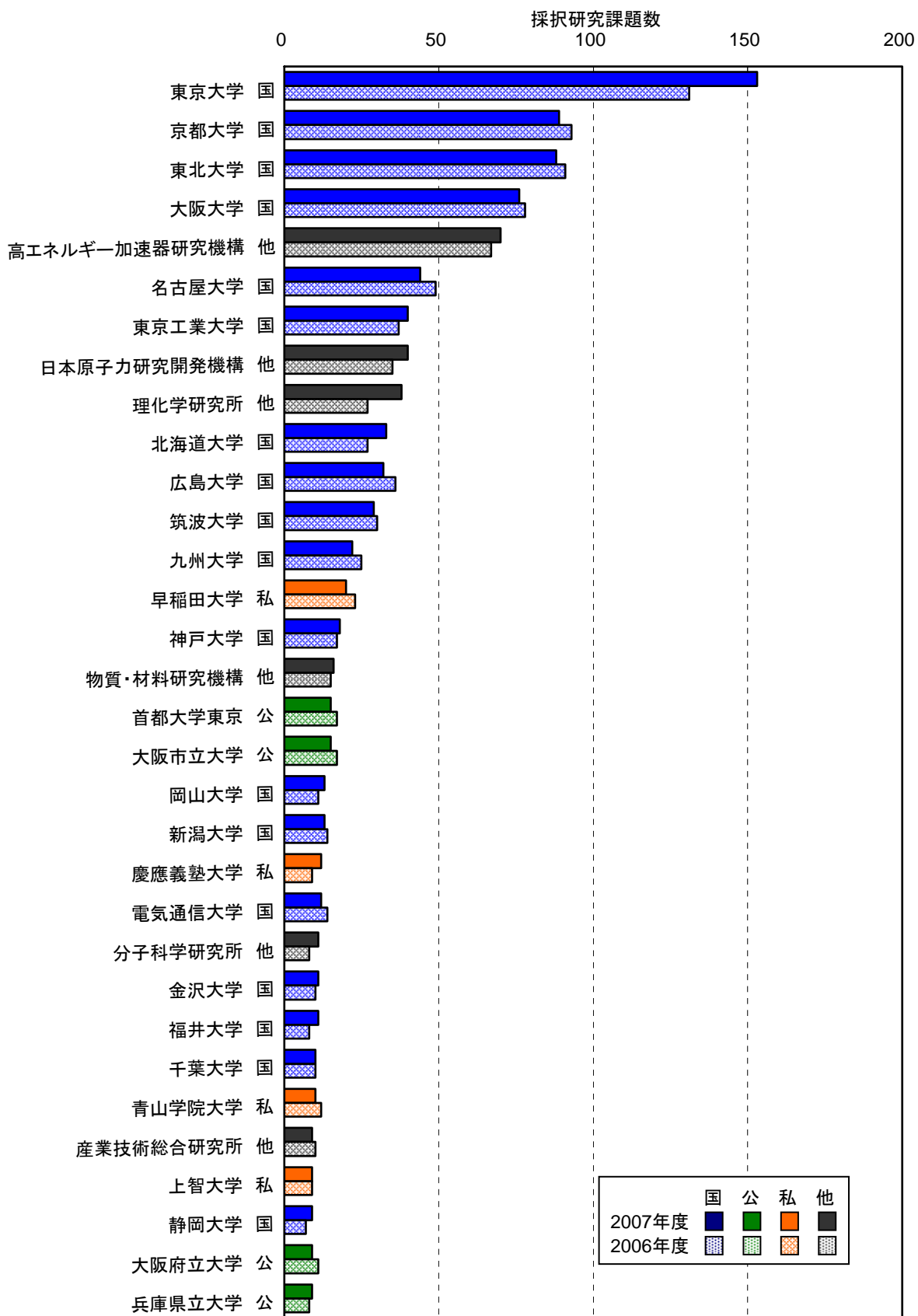
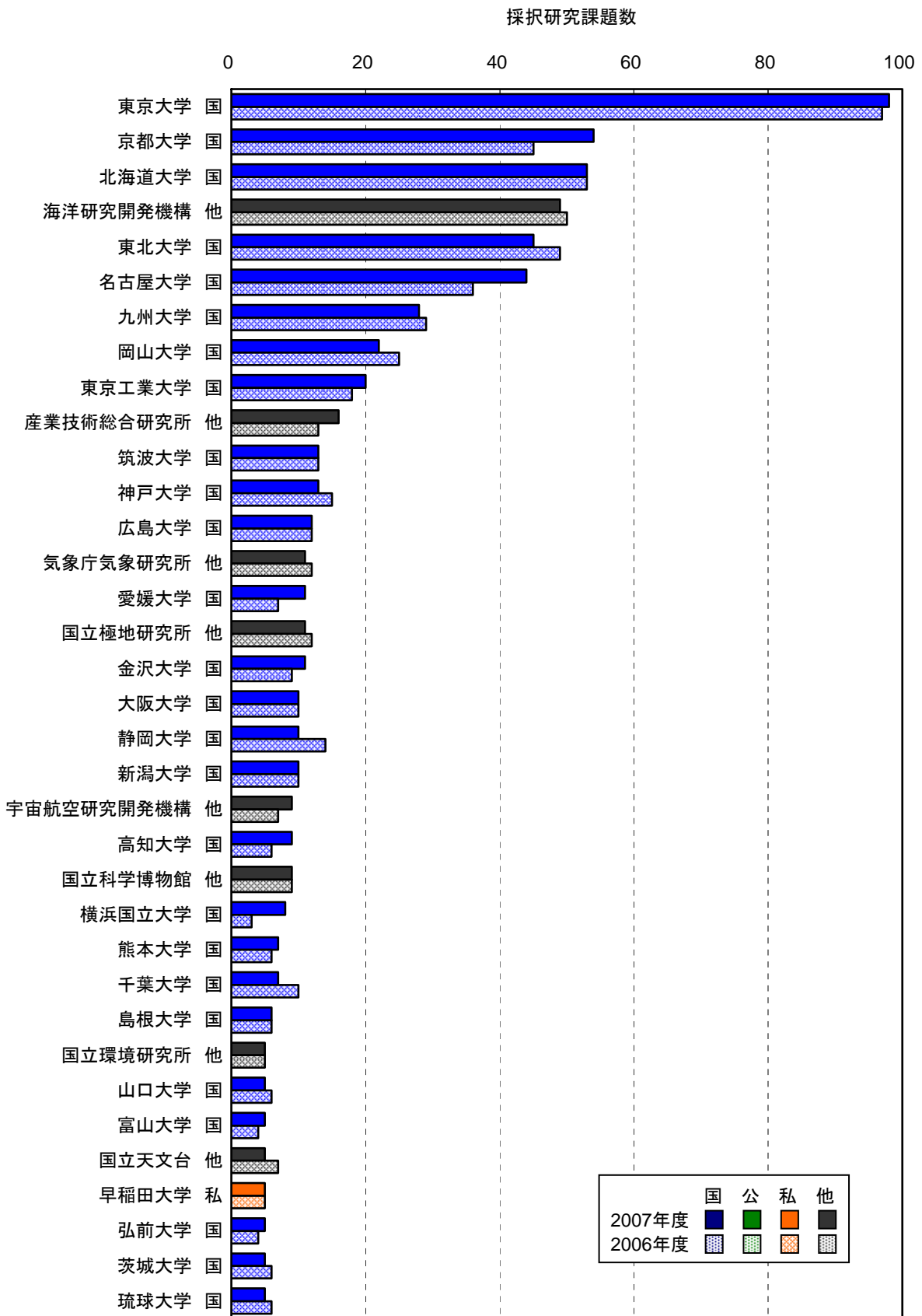


図 2 - 8 物理学 採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度)





## 2-2 化学

分野：化学の中の基礎化学、複合化学、材料化学の「分科」ごとの採択研究課題数を図2-10の円グラフに示す。分野：数物系科学と比べると、「分科」別の採択研究課題数に偏りが小さい。

前年度と比較すると、分野：化学の採択研究課題数の伸びはわずか2件である。分野：化学の中では各「分科」の占める割合はほとんど変化していないが、採択研究課題数をみると分科：基礎化学は6件、分科：複合化学は2件増えている一方、分科：材料化学は6件減少している。

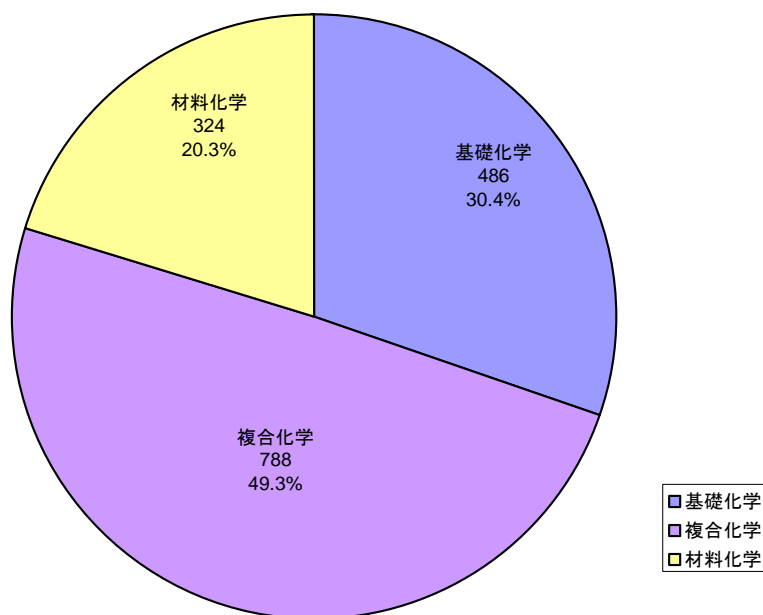


図2-10 2007年度の化学「分科」別採択研究課題数

以下、基礎化学、複合化学、材料化学の各「分科」について、上位30位までを表にまとめ、表2-7～2-8に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図2-11～2-13に示す。

分野：化学でも、どの「分科」においても前年度と比較して上位の機関の順位に大きな変動はない。

分科：基礎化学では、東北大学が同数2位から同数1位に上昇し、理化学研究所が15位から10位に、名古屋大学が同数20位から同数11位に躍進している。

分科：複合化学では、上位グループにほとんど変化はないが、東京理科大学が同数22位から同数9位に上昇し、奈良先端科学技術大学院大学は10位から同数24位に、大阪市立大学が同数11位から同数26位に後退している。

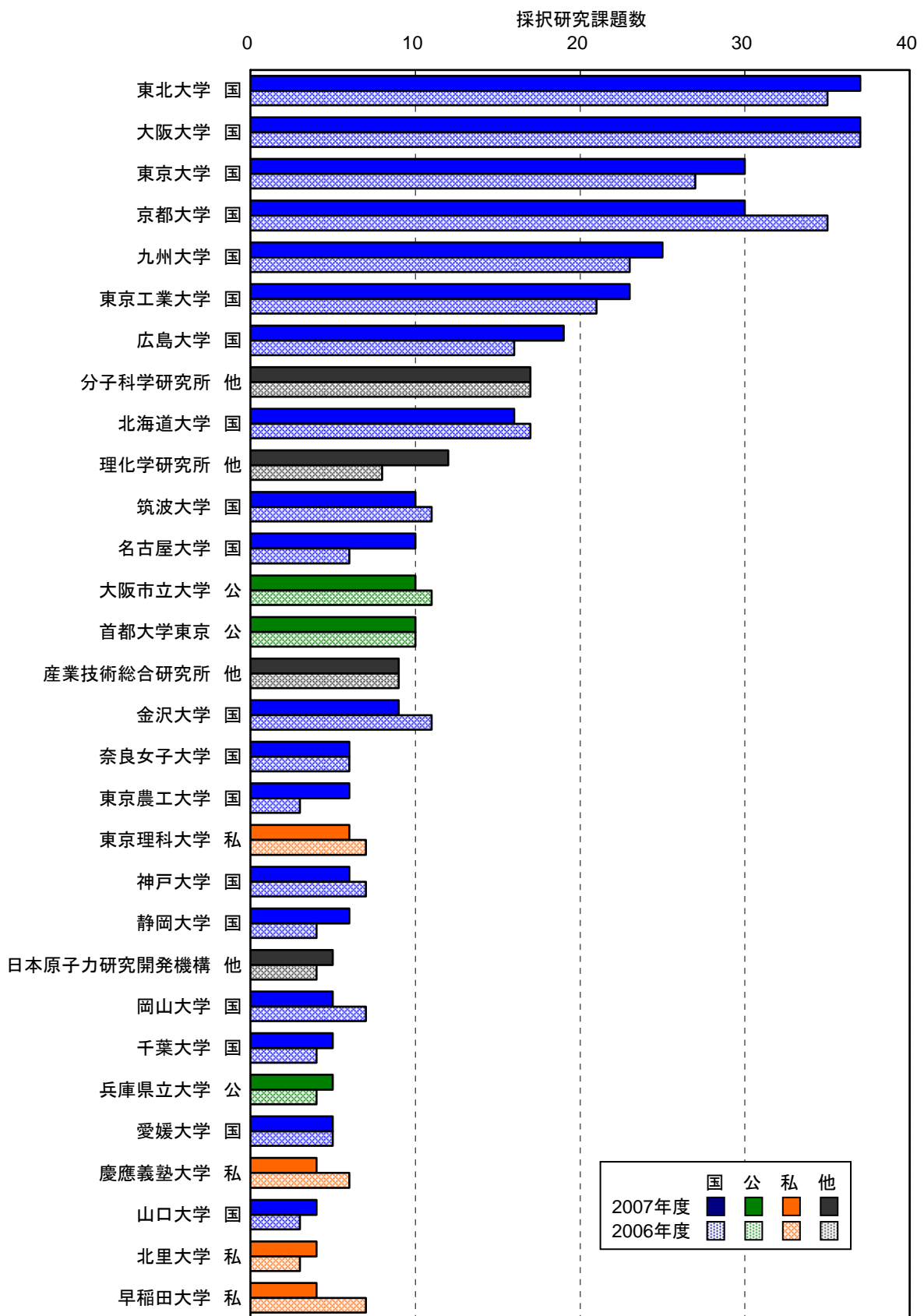
分科：材料化学でも上位グループに大きな変化はないが、千葉大学が6位から3位に、東京大学が同数14位から6位に上昇し、長岡技術科学大学は同数7位から同数22位に大きく後退している。

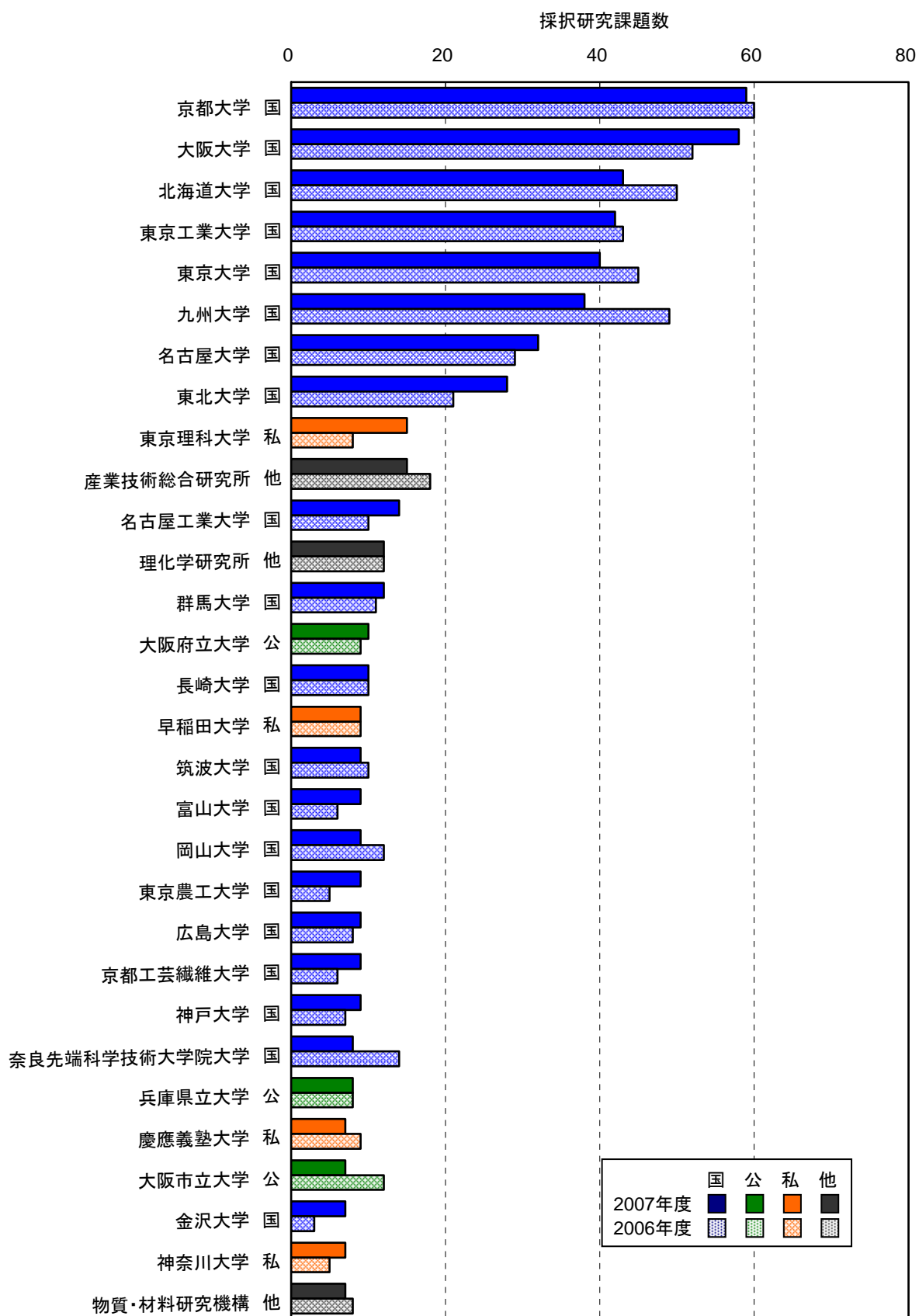


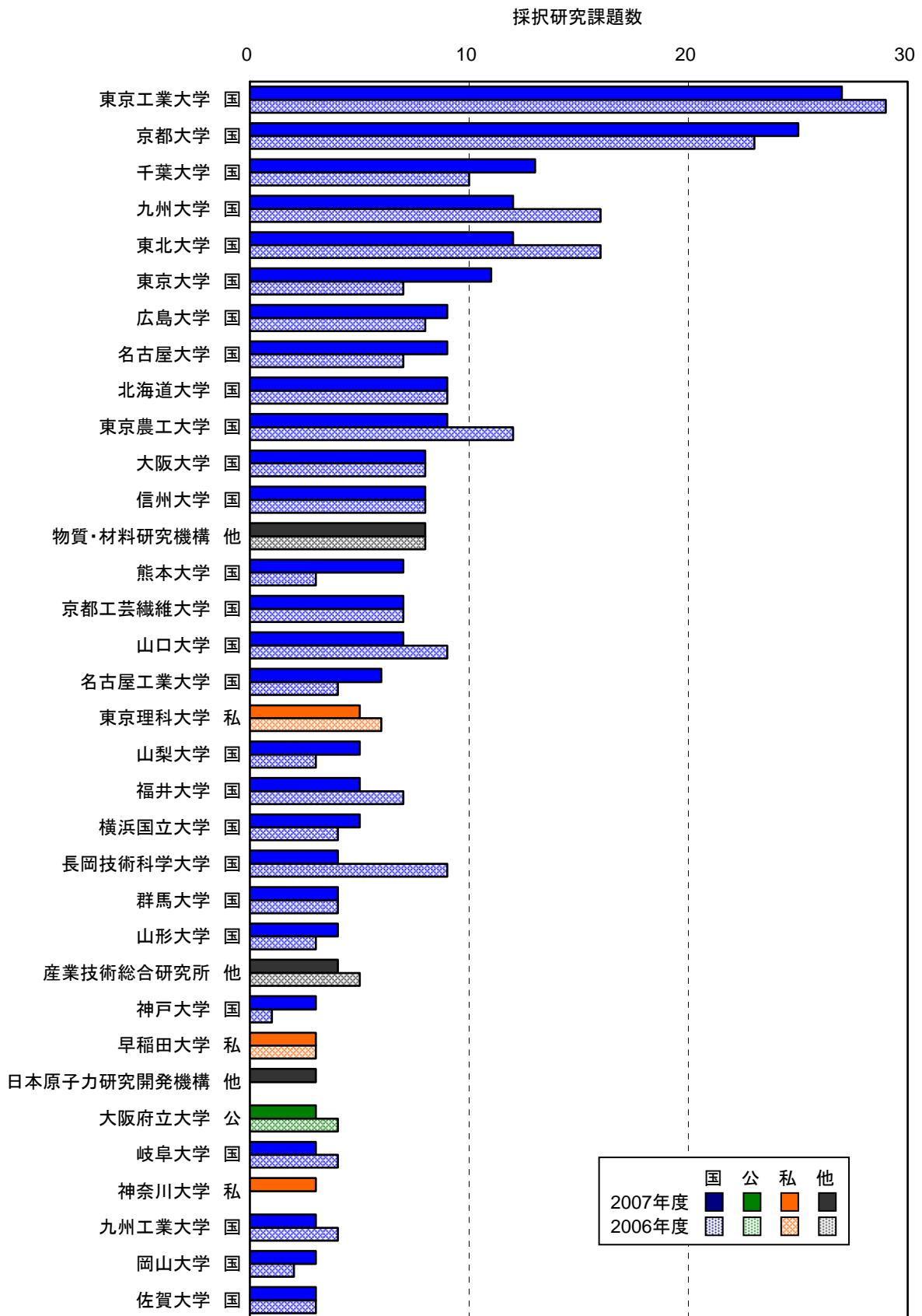
表 2-8 化学「分科」別採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度) (2)

金額単位/千円

材料化学					
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額	
1	国	東京工業大学	27	93,250	29
2	国	京都大学	25	100,400	23
3	国	千葉大学	13	41,400	10
4	国	九州大学	12	91,910	16
4	国	東北大学	12	69,600	16
6	国	東京大学	11	59,100	7
7	国	広島大学	9	59,600	8
7	国	名古屋大学	9	51,370	7
7	国	北海道大学	9	45,600	9
7	国	東京農工大学	9	38,100	12
11	国	大阪大学	8	37,820	8
11	国	信州大学	8	35,300	8
11	他	物質・材料研究機構	8	20,670	8
14	国	熊本大学	7	37,300	3
14	国	京都工芸繊維大学	7	18,400	7
14	国	山口大学	7	9,500	9
17	国	名古屋工業大学	6	11,300	4
18	私	東京理科大学	5	23,300	6
18	国	山梨大学	5	20,700	3
18	国	福井大学	5	14,400	7
18	国	横浜国立大学	5	13,800	4
22	国	長岡技術科学大学	4	10,000	9
22	国	群馬大学	4	9,200	4
22	国	山形大学	4	6,200	3
22	他	産業技術総合研究所	4	4,610	5
26	国	神戸大学	3	33,300	1
26	私	早稲田大学	3	16,800	3
26	他	日本原子力研究開発機構	3	12,600	0
26	公	大阪府立大学	3	11,800	4
26	国	岐阜大学	3	11,700	4
26	私	神奈川大学	3	8,000	0
26	国	九州工業大学	3	7,500	4
26	国	岡山大学	3	5,000	2
26	国	佐賀大学	3	4,000	3
		合計	324	1,199,580	330







## 2-3 工学

分野：工学の中の応用物理学・工学基礎、機械工学、電気電子工学、土木工学、建築学、材料工学、プロセス工学、総合工学の「分科」ごとの採択研究課題数を図2-14の円グラフに示す。ここでも、分野：数物系科学と比べると、「分科」別の採択研究課題数に大きな偏りがない。

前年度と比較すると、分野：工学の採択研究課題数は0.9%減少しているのが特徴である。「分科」ごとにみると、採択研究課題数を増やしているのは分科：建築学と総合工学のみで、分科：機械工学、電気電子工学は15件、土木工学は28件、材料工学は9件、応用物理学・工学基礎は4件、プロセス工学は3件採択研究課題数を減らしている。近年は分科：機械工学、電気電子工学、土木工学、プロセス工学で採択研究課題数の減少が続いている。

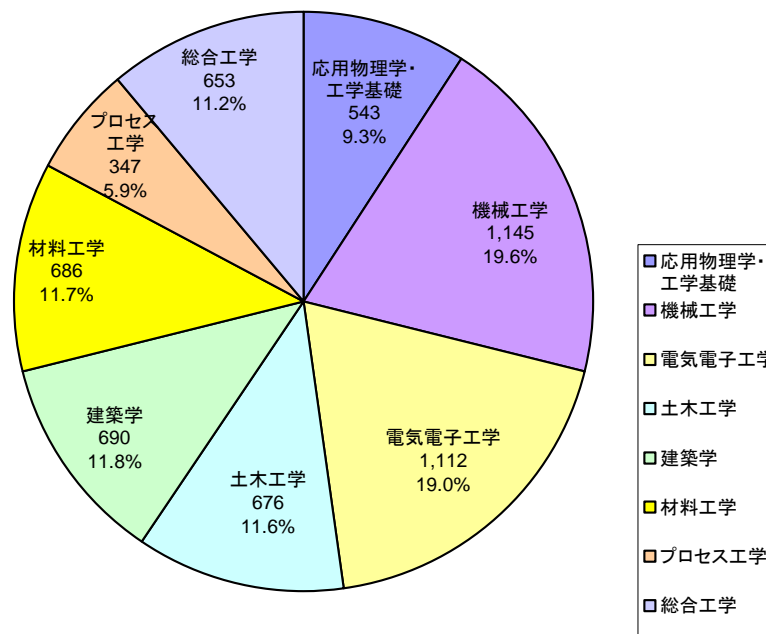


図2-14 2007年度の工学「分科」別採択研究課題数

以下、応用物理学・工学基礎、機械工学、電気電子工学、土木工学、建築学、材料工学、プロセス工学、総合工学の各「分科」について、上位30位までを表にまとめ、表2-9～2-12に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図2-15～2-22に示す。

分野：工学でも、分野：数物系科学、化学と同じように、全体としては大きな変化はない。15位以降ではかなりの変動がみられるが、採択研究課題数が10件以下では、数件の採択研究課題数の増減で順位が大きく変わるため、統計的にはあまり意味がないことに注意する必要がある。以下、各「分科」についてその特徴をみることにする。

分科：応用物理学・工学基礎では、北海道大学と筑波大学が同数6位になったこと以外に大きな変動はない。

分科：機械工学では、京都大学と名古屋大学が順位を入れ替え、東京農工大学が採択研究課題数を8

件増やし同数 10 位から 8 位に上昇している。

分科：電気電子工学では、東京工業大学が 4 位から 2 位に上がり、広島大学が 17 位から 11 位に順位を上げている一方、大阪大学、早稲田大学、九州大学、神戸大学、豊橋技術科学大学が順位を後退させている。

分科：土木工学では、九州大学が 9 位から 5 位に上昇している。

分科：建築学では、九州大学が同数 7 位から 4 位に上昇し、北海道大学が 4 位から同数 7 位に後退している。

分科：材料工学では、物質・材料研究機構が採択研究課題数を伸ばし 5 位から 3 位に上昇し、豊橋技術科学大学が 10 位から同数 14 位に後退している。

分科：プロセス工学では、前年度に同数 1 位であった東京大学が同数 5 位に、同じく同数 1 位であった東京工業大学が採択研究課題数を 7 件減らして 7 位に後退し、採択研究課題数を伸ばした京都大学が 1 位に、大阪大学が 2 位、九州大学が 3 位に上昇している。

分科：総合工学では、日本原子力研究開発機構が 3 位から同数 1 位に上がり、九州大学が 2 位から 4 位に後退したほかは、あまり変化がない。

この一連の、科学研究費補助金の採択研究課題数による大学・大学院の研究活性度の調査研究にあたって、データの整理、編集、図表の作成をお願いした東京大学生産技術研究所の斉藤加余子氏に感謝の意を表す。



表2-9 工学「分科」別採択研究課題数上位30位(2007年度)(1)

金額単位/千円

応用物理学・工学基礎						機械工学					
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東北大学	55	227,910	46	1	国	東北大学	72	247,250	77
2	国	東京大学	45	191,750	44	2	国	東京工業大学	57	197,720	60
3	国	大阪大学	41	243,360	34	3	国	東京大学	52	291,920	57
4	国	京都大学	36	111,990	31	4	国	大阪大学	48	220,610	50
5	国	名古屋大学	21	120,500	22	5	国	京都大学	46	146,570	44
6	国	筑波大学	19	75,900	19	6	国	名古屋大学	44	161,170	48
6	国	北海道大学	19	69,900	20	7	国	九州大学	35	106,800	41
8	国	東京工業大学	18	93,200	15	8	国	東京農工大学	31	115,300	23
9	他	理化学研究所	13	73,100	13	9	私	慶應義塾大学	26	111,130	23
9	他	物質・材料研究機構	13	42,700	14	9	国	神戸大学	26	60,300	24
11	国	九州大学	12	35,570	12	11	国	北海道大学	23	59,600	24
12	他	産業技術総合研究所	11	44,900	9	12	国	名古屋工業大学	21	49,200	21
13	私	早稲田大学	8	28,000	8	12	国	金沢大学	21	43,100	16
13	国	静岡大学	8	14,800	11	14	私	東京理科大学	17	40,140	16
13	他	日本原子力研究開発機構	8	11,000	6	14	私	同志社大学	17	27,090	12
16	国	横浜国立大学	7	19,300	9	16	国	横浜国立大学	16	35,100	18
17	国	電気通信大学	6	14,800	4	17	国	九州工業大学	15	45,100	13
17	国	埼玉大学	6	13,700	6	18	国	豊橋技術科学大学	14	19,400	12
17	公	大阪府立大学	6	10,900	4	19	国	埼玉大学	13	24,960	8
20	他	高エネルギー加速器研究機構	5	28,300	5	20	国	静岡大学	12	44,200	11
20	国	京都工芸繊維大学	5	21,900	4	20	私	早稲田大学	12	31,700	11
20	国	東京農工大学	5	17,640	6	20	公	首都大学東京	12	21,870	13
20	国	千葉大学	5	13,430	8	23	国	岡山大学	11	26,300	14
20	私	立命館大学	5	11,200	6	23	国	群馬大学	11	16,800	8
20	私	武蔵工業大学	5	9,500	2	23	国	熊本大学	11	15,700	8
20	国	徳島大学	5	9,200	6	26	私	関西大学	10	40,700	7
20	国	山梨大学	5	5,670	7	26	他	産業技術総合研究所	10	29,200	16
28	国	北陸先端科学技術大学院大学	4	14,100	4	26	私	東海大学	10	24,700	7
28	国	長岡技術科学大学	4	12,300	3	26	国	電気通信大学	10	20,600	12
28	国	三重大学	4	7,300	6	26	国	福井大学	10	16,800	9
28	国	名古屋工業大学	4	6,800	5	26	国	信州大学	10	11,300	13
28	公	大阪市立大学	4	6,300	6	26	私	日本大学	10	10,820	7
28	国	北見工業大学	4	5,000	2						
28	公	兵庫県立大学	4	4,500	5						
合計			543	1,859,350	547	合計			1,145	3,078,460	1,160

表2-10 工学「分科」別採択研究課題数上位30位(2007年度)(2)

金額単位/千円

電気電子工学						土木工学					
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東北大学	66	335,480	59	1	国	京都大学	59	171,760	62
2	国	東京工業大学	51	228,320	47	2	国	東京大学	55	292,830	54
3	国	東京大学	48	255,760	49	3	国	東北大学	29	135,200	35
4	国	大阪大学	46	151,980	51	4	国	東京工業大学	26	104,600	29
5	国	京都大学	37	124,250	37	5	国	九州大学	24	82,950	17
6	国	北海道大学	25	92,560	26	6	国	北海道大学	22	79,100	19
7	国	電気通信大学	24	47,700	25	7	国	岐阜大学	20	45,390	21
8	私	早稲田大学	23	82,820	28	8	国	名古屋大学	17	59,200	19
8	国	名古屋大学	23	73,500	23	8	国	神戸大学	17	55,500	16
10	国	九州工業大学	21	50,100	20	10	国	埼玉大学	15	49,000	19
11	国	広島大学	20	79,380	17	11	国	山口大学	12	26,030	14
12	国	九州大学	19	86,800	27	12	国	長岡技術科学大学	11	40,370	13
12	国	静岡大学	19	56,900	19	12	私	日本大学	11	12,800	9
12	国	名古屋工業大学	19	52,300	19	14	他	港湾空港技術研究所	10	35,000	9
15	国	神戸大学	17	52,060	19	14	国	筑波大学	10	23,100	10
16	国	豊橋技術科学大学	16	50,600	19	14	国	山梨大学	10	22,850	12
16	私	慶應義塾大学	16	48,300	13	14	国	徳島大学	10	20,900	11
18	公	大阪府立大学	15	24,200	16	14	国	九州工業大学	10	16,200	8
19	国	千葉大学	14	43,300	10	14	国	広島大学	10	15,200	10
19	私	東京理科大学	14	26,310	10	20	国	大阪大学	8	25,500	3
21	国	横浜国立大学	13	42,350	13	20	国	金沢大学	8	22,400	12
22	国	熊本大学	12	14,000	19	20	国	熊本大学	8	16,400	10
23	国	金沢大学	11	24,400	11	20	私	立命館大学	8	13,900	9
24	国	東京農工大学	10	53,700	16	20	国	名古屋工業大学	8	11,900	13
24	他	産業技術総合研究所	10	26,230	6	25	公	首都大学東京	7	11,100	10
24	私	豊田工業大学	10	22,670	6	26	国	群馬大学	6	27,850	6
24	国	筑波大学	10	21,100	13	26	私	東京理科大学	6	13,100	4
24	国	新潟大学	10	20,500	11	26	私	中央大学	6	11,810	5
24	国	山口大学	10	11,400	11	26	国	茨城大学	6	11,500	10
30	国	奈良先端科学技術大学院大学	9	29,460	10	26	私	東洋大学	6	10,600	7
30	国	宇都宮大学	9	21,100	7	26	他	国土技術政策総合研究所	6	6,600	5
30	国	山形大学	9	16,360	11						
30	国	徳島大学	9	11,700	13						
		合計	1,112	3,124,350	1,127			合計	676	1,896,620	704



表2-12 工学「分科」別採択研究課題数上位30位(2007年度)(4)

金額単位/千円

プロセス工学						総合工学					
順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数	順位	種別	機関名	2007年度		2006 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	京都大学	24	88,670	21	1	国	東京大学	61	326,690	67
2	国	大阪大学	23	59,970	20	1	他	日本原子力研究開発機構	61	153,520	53
3	国	九州大学	21	85,200	20	3	国	東北大学	58	272,980	51
4	国	名古屋大学	20	73,800	21	4	国	九州大学	54	201,700	58
5	国	東北大学	19	114,700	13	5	国	大阪大学	34	170,420	34
5	国	東京大学	19	112,760	22	6	他	核融合科学研究所	32	101,400	40
7	国	東京工業大学	15	92,560	22	7	国	京都大学	31	78,590	32
8	国	広島大学	14	37,100	12	8	他	宇宙航空研究開発機構	28	71,890	27
9	国	北海道大学	12	51,400	12	9	国	北海道大学	20	63,530	21
10	国	神戸大学	8	25,200	7	10	国	名古屋大学	19	94,800	20
10	国	岡山大学	8	24,030	9	10	公	大阪府立大学	19	50,100	14
12	国	東京農工大学	7	60,200	9	12	国	東京工業大学	18	116,700	18
12	国	筑波大学	7	27,070	5	13	他	海上技術安全研究所	14	57,100	16
14	私	早稲田大学	6	20,600	8	13	国	神戸大学	14	49,800	14
14	公	兵庫県立大学	6	15,800	6	15	国	筑波大学	9	26,300	6
14	私	崇城大学	6	13,700	5	15	私	東海大学	9	13,100	10
17	国	鹿児島大学	5	15,300	6	17	国	広島大学	8	24,460	10
17	国	横浜国立大学	5	13,900	7	17	国	東京海洋大学	8	23,500	10
17	国	静岡大学	5	13,300	3	17	国	横浜国立大学	8	19,300	10
17	国	千葉大学	5	13,000	5	20	国	九州工業大学	7	25,100	7
17	国	宇都宮大学	5	8,800	4	20	国	東京農工大学	7	19,800	7
22	国	鳥取大学	4	11,000	4	22	他	海洋研究開発機構	6	7,400	6
22	国	金沢大学	4	7,000	4	23	国	静岡大学	4	18,100	2
24	国	群馬大学	3	14,100	0	23	国	岩手大学	4	15,250	2
24	国	山口大学	3	9,200	4	23	公	首都大学東京	4	13,610	2
24	他	産業技術総合研究所	3	7,400	3	23	私	日本大学	4	13,000	4
24	私	関西大学	3	6,960	2	23	国	熊本大学	4	11,500	3
24	公	北九州市立大学	3	5,400	2	23	他	産業技術総合研究所	4	4,000	3
24	国	秋田大学	3	5,100	2	29	他	高エネルギー加速器研究機構	3	39,900	4
24	国	名古屋工業大学	3	4,400	3	29	国	新潟大学	3	12,800	4
24	国	奈良先端科学技術大学院大学	3	4,000	2	29	私	崇城大学	3	7,000	2
24	国	新潟大学	3	3,100	4	29	私	金沢工業大学	3	6,200	3
						29	国	佐賀大学	3	4,300	2
合計			347	1,213,260	350	合計			653	2,306,720	643

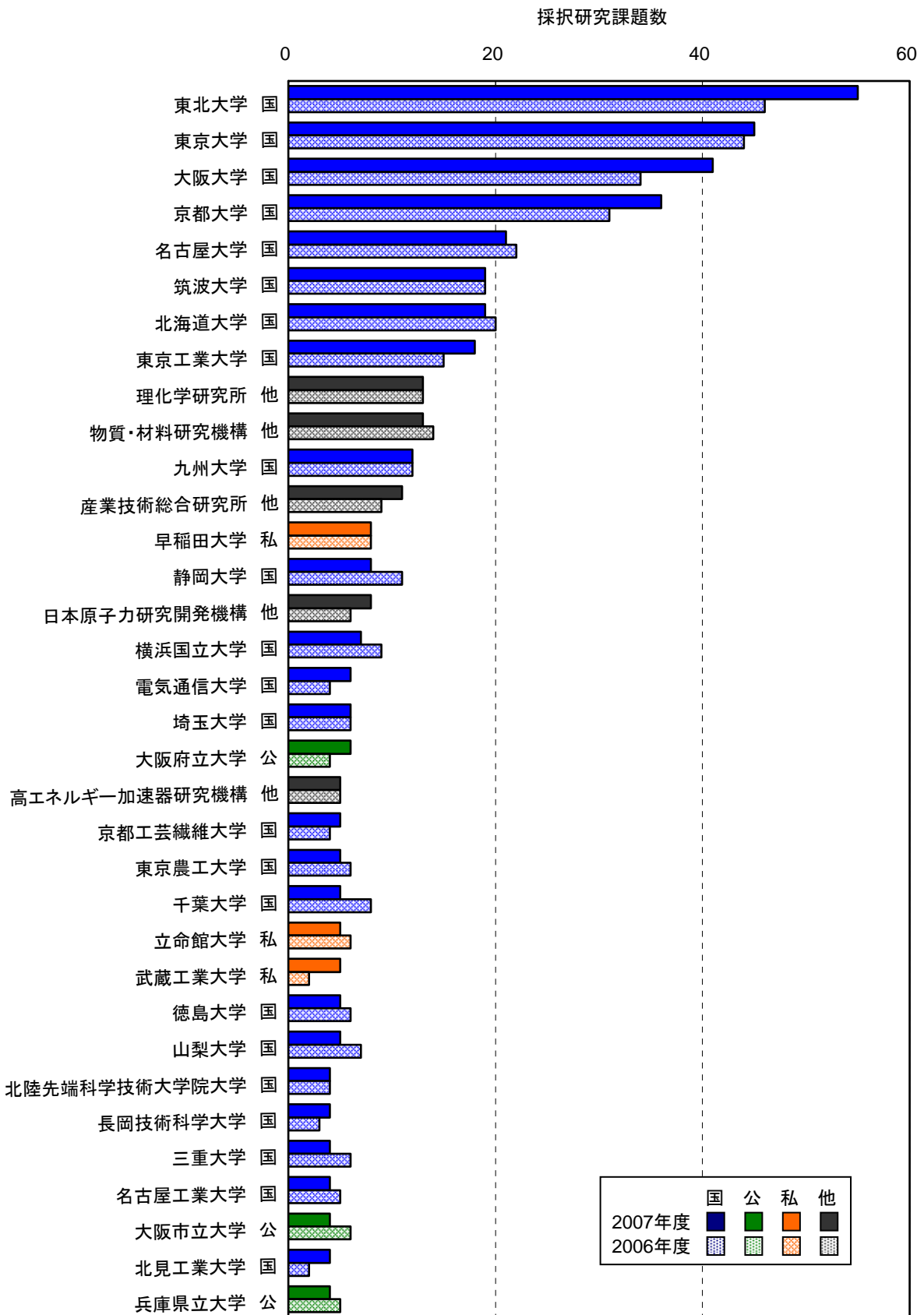


図 2 - 15 応用物理学・工学基礎 採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度)

採択研究課題数

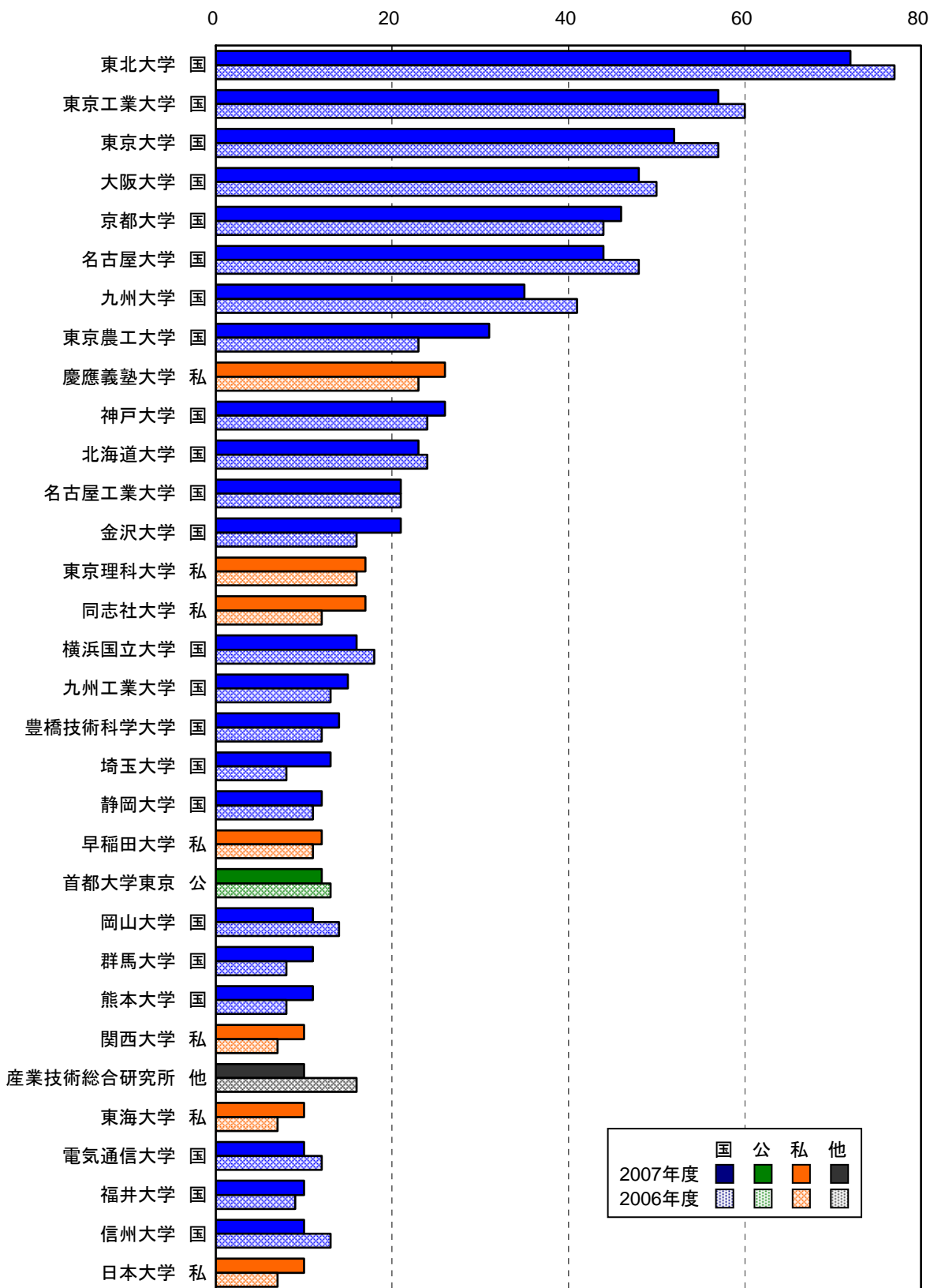
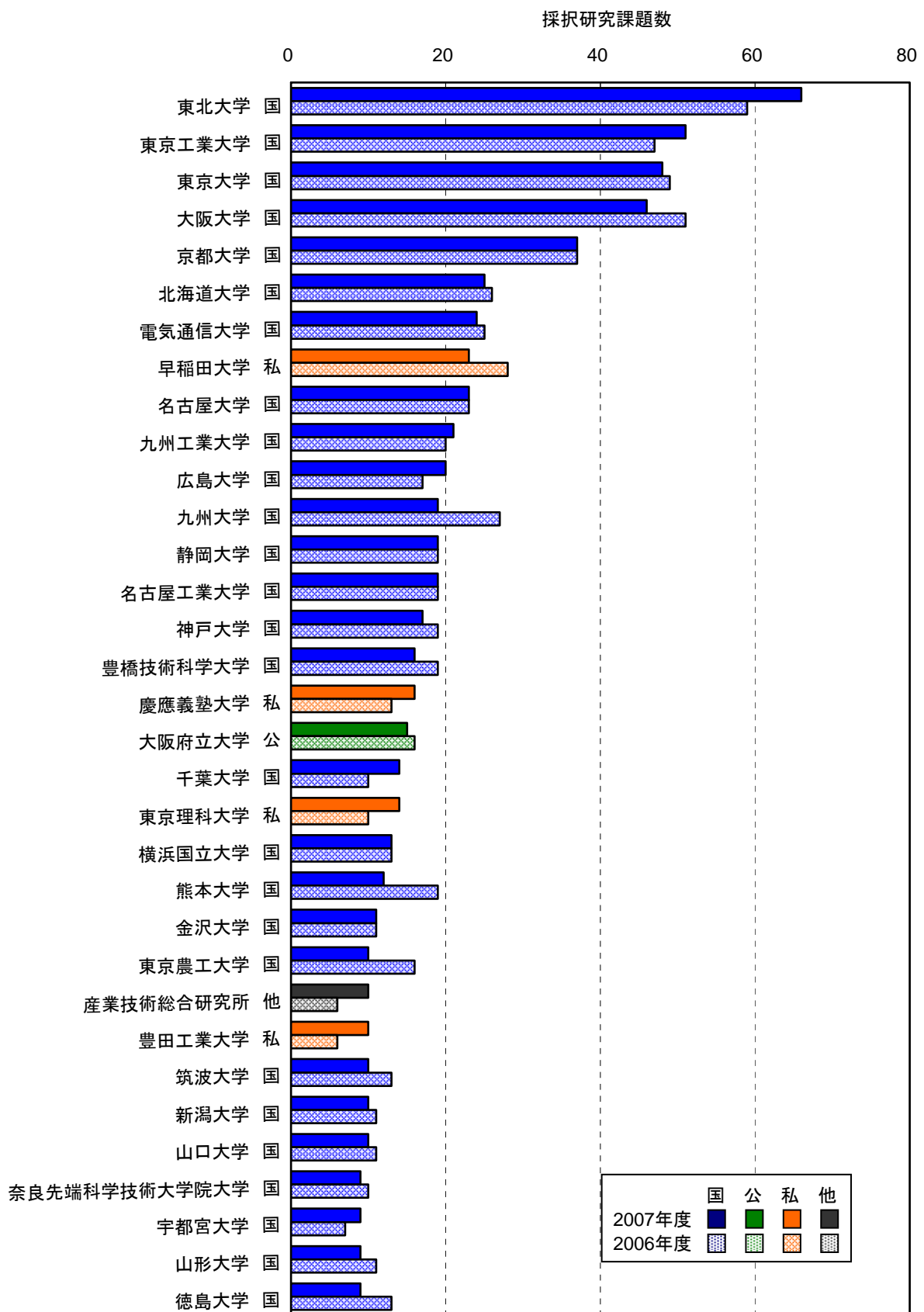
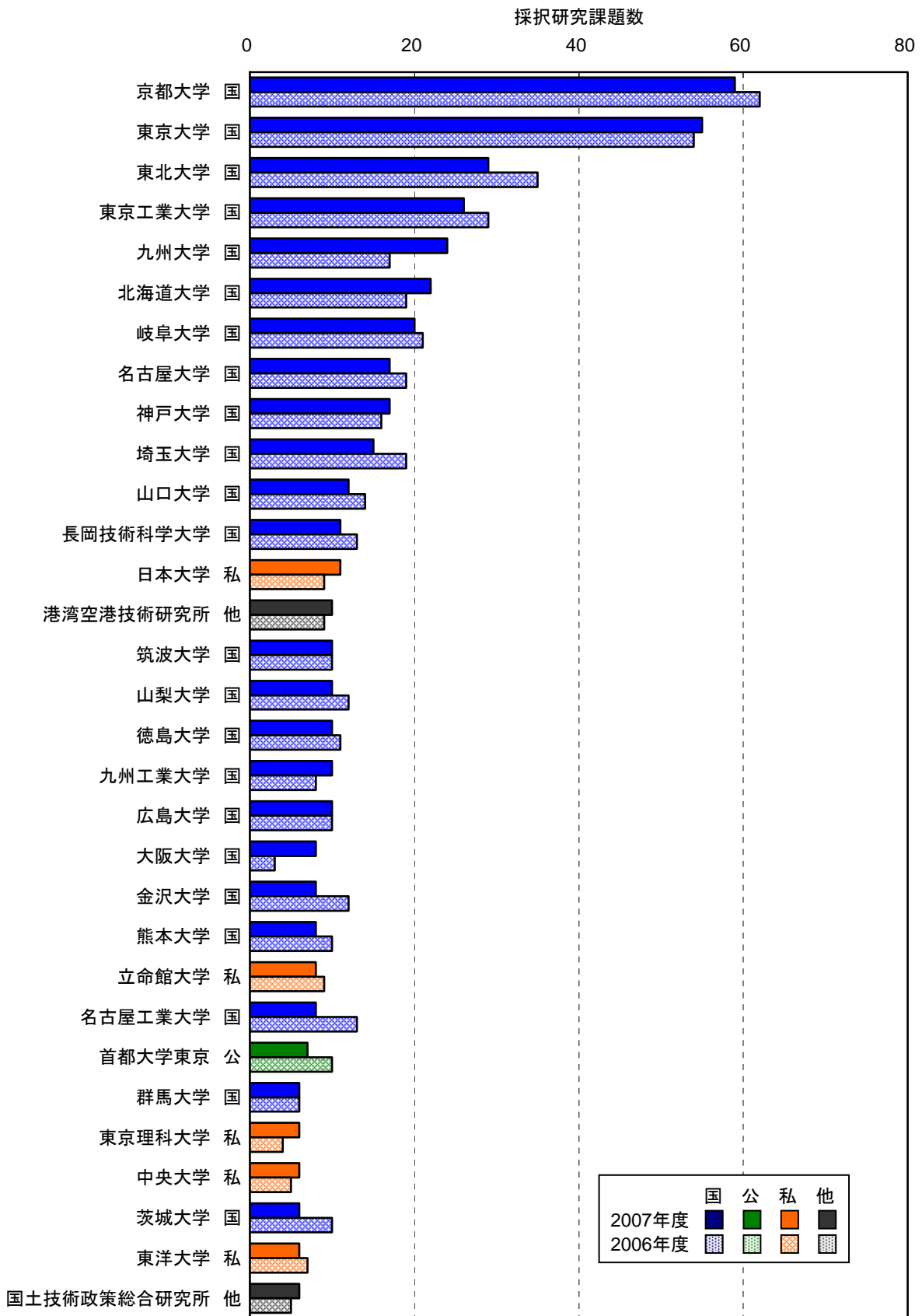


図2-16 機械工学 採択研究課題数上位30位(2007年度)







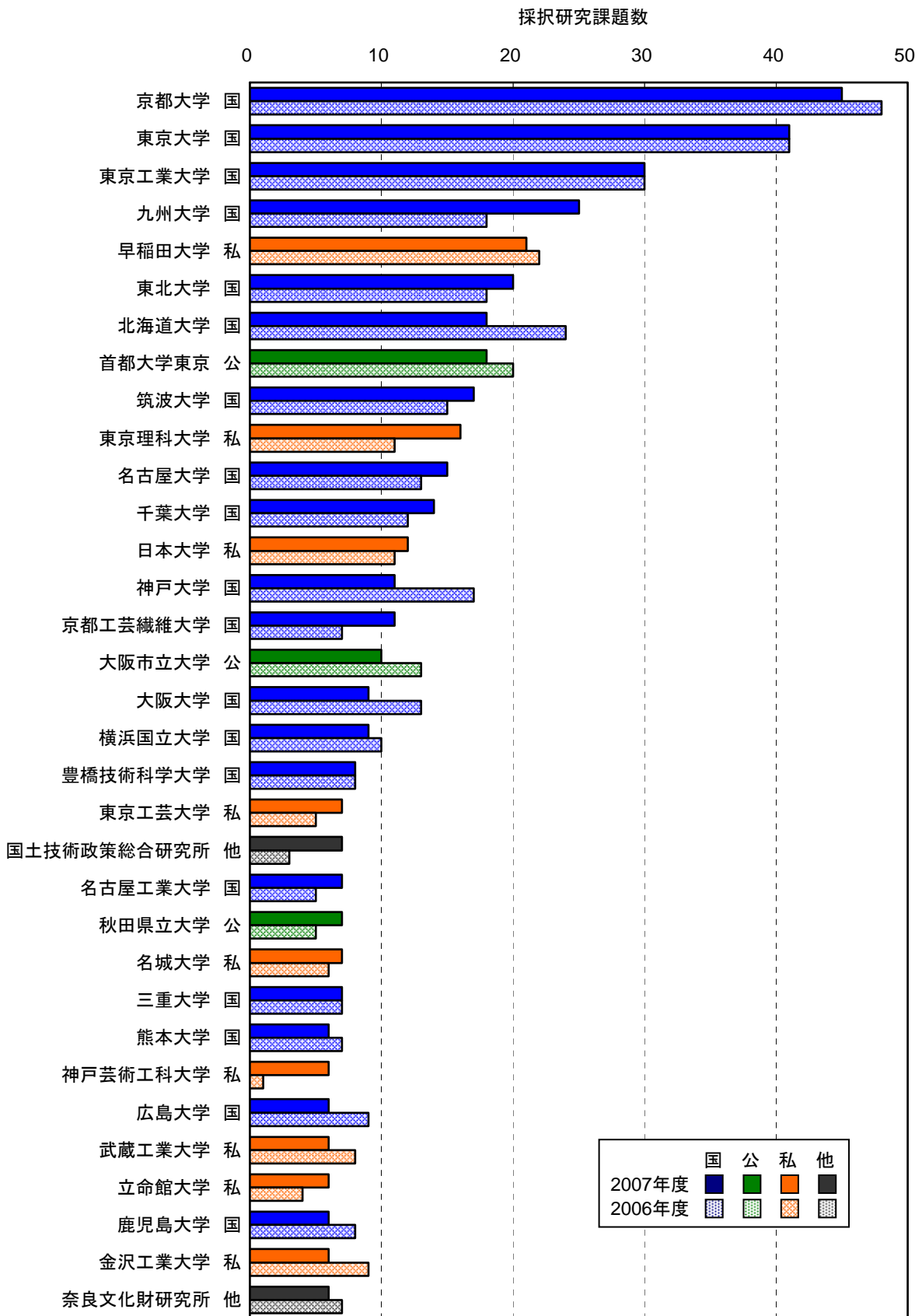


図2-19 建築学 採択研究課題数上位30位 (2007年度)

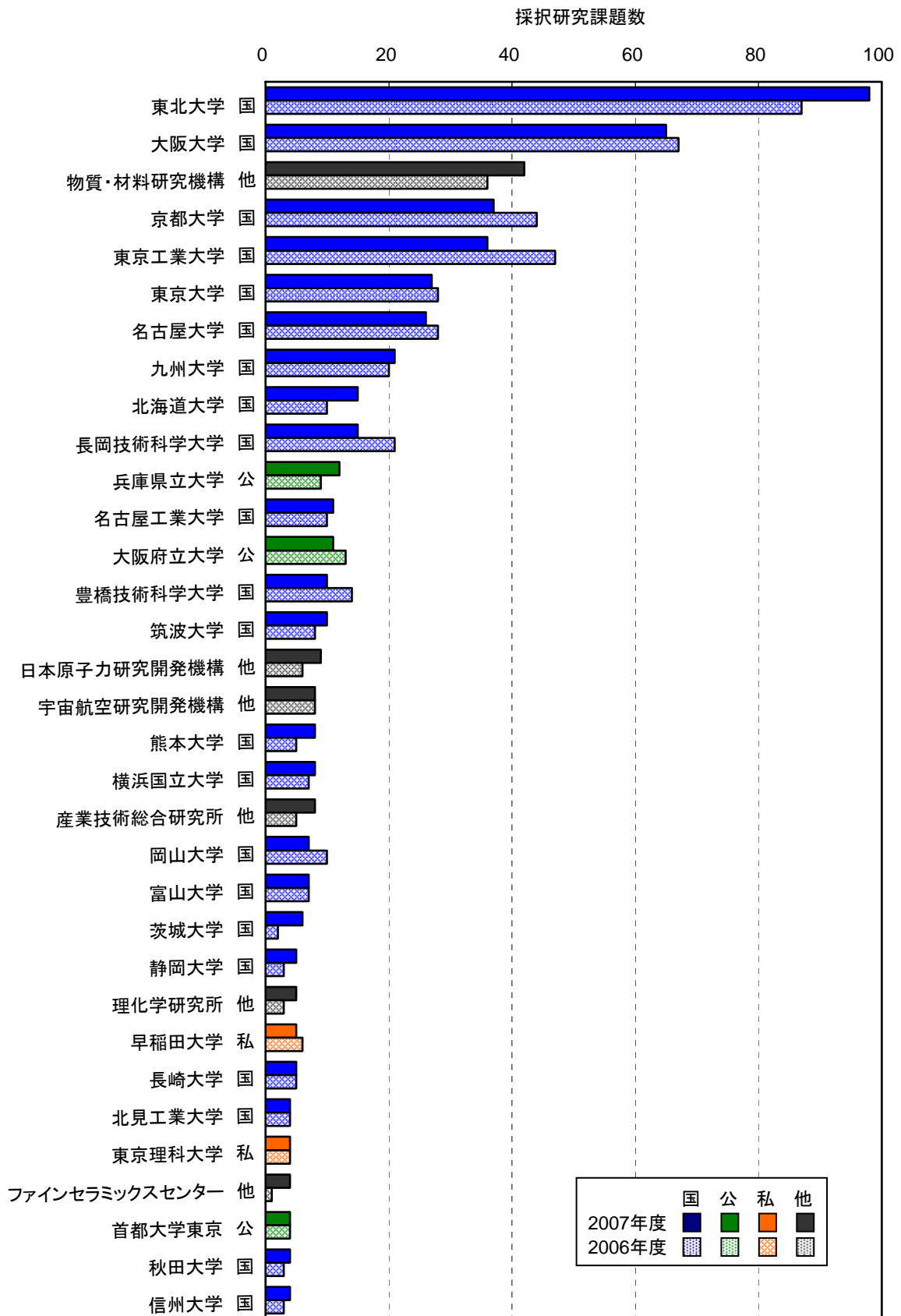


図 2 - 2 0 材料工学 採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度)

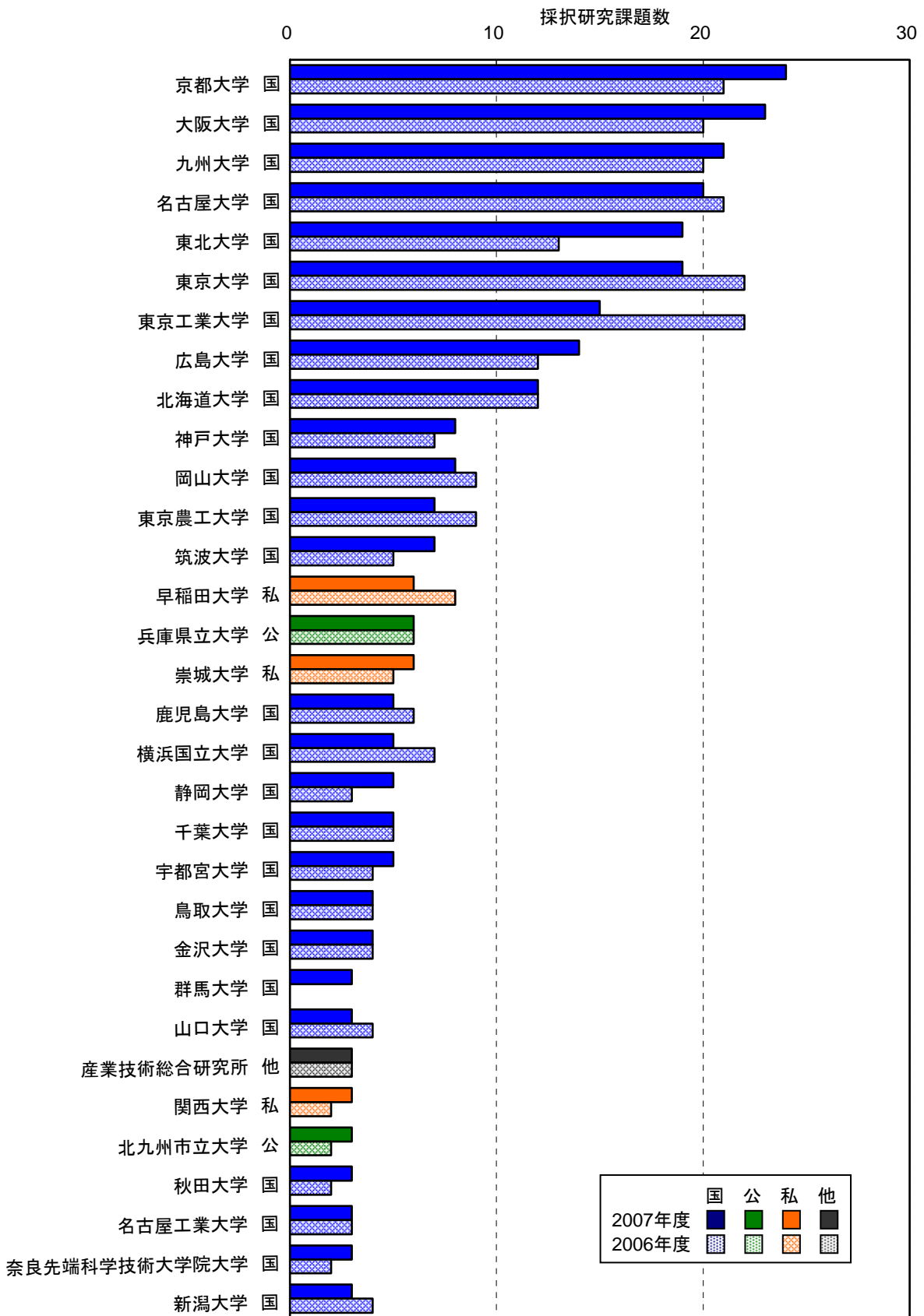


図 2 - 2 1 プロセス工学 採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度)

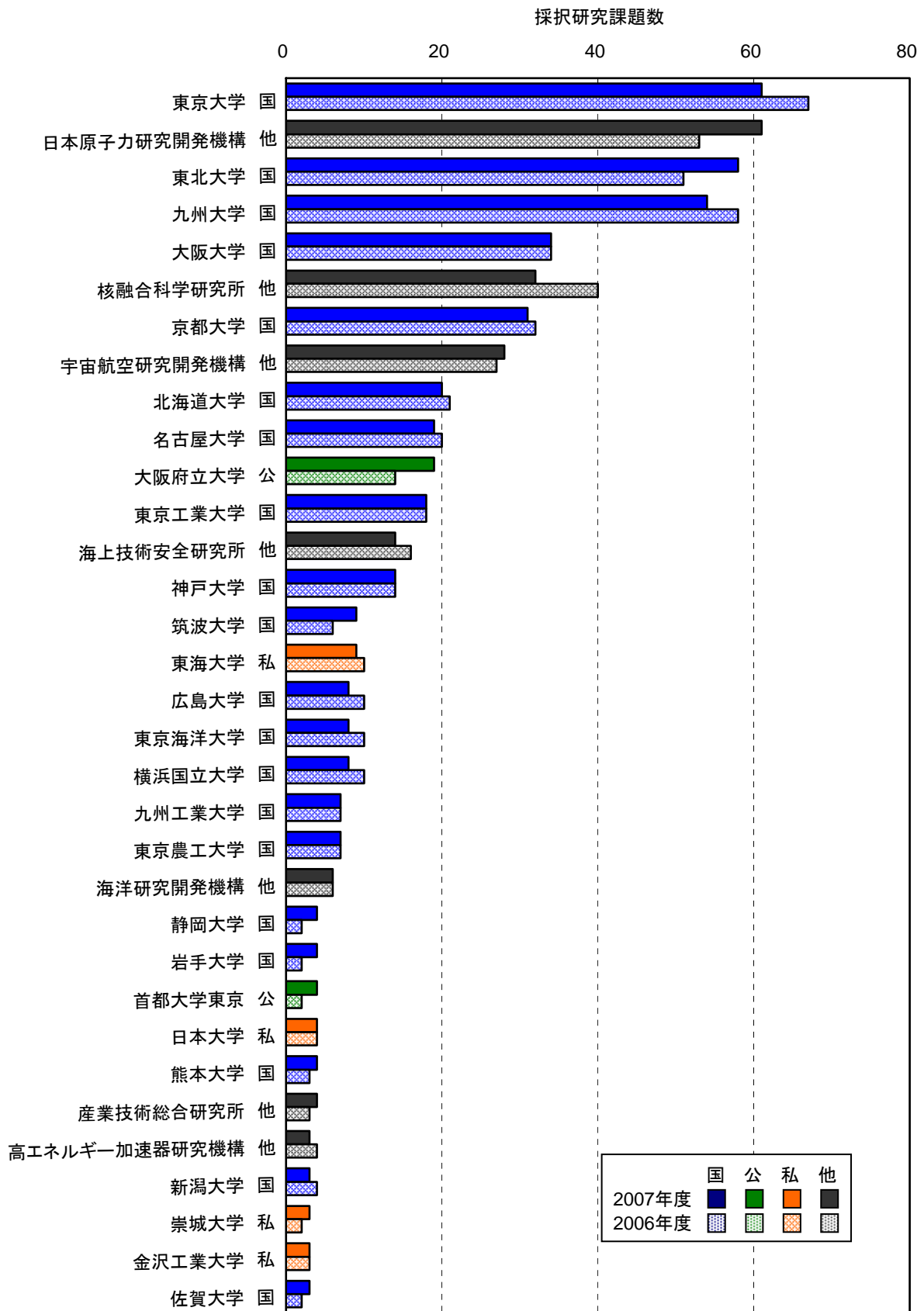


図 2 - 2 2 総合工学 採択研究課題数上位 30 位 (2007 年度)